

平成 18 年度

ガンカモ科鳥類生息調査報告書

平成 19 年 2 月

福 井 県

はじめに

ガンカモ科の鳥類は、主として河川、湖沼、海岸などの水域で生息している。これらの生息地は自然環境の変化が顕著に現れるため、それに応じてガンカモ類の生息状況に影響がでるであろう。

また、ガンカモ科の多くの種は狩猟鳥として重要な位置を占め、野生鳥獣の保護と人間生活の共存のためには、その管理において長期にわたる科学的な資料を必要とする。

そこで、ガンカモ科鳥類の渡来数の動態や生息環境の変化を把握するために調査分析を行った。

この調査は、福井県が日本野鳥の会福井県支部へ委託して実施したもので、調査結果が本県におけるガンカモ科鳥類の越冬期の生息状況を明らかにし、かつ鳥獣保護政策に資することができれば幸いである。

なお、報告書をまとめるにあたり、調査に協力をいただいた福井県支部会員各位に対して心からお礼申し上げる次第である。

(1) 福良ヶ池



(2) 北潟湖



(3) 加戸大堤



(4) 九頭竜川河口域



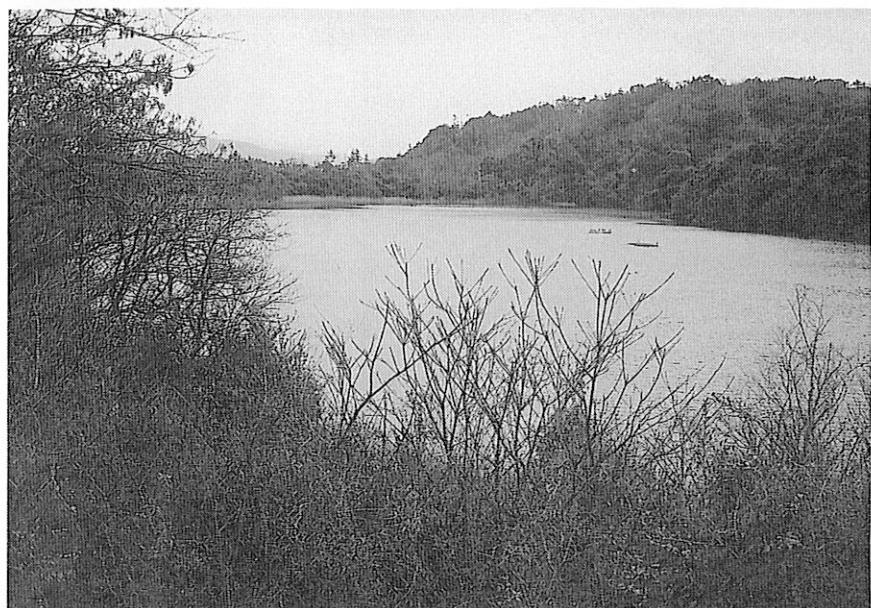
(5) 九頭竜川中流域



(6) 日野川



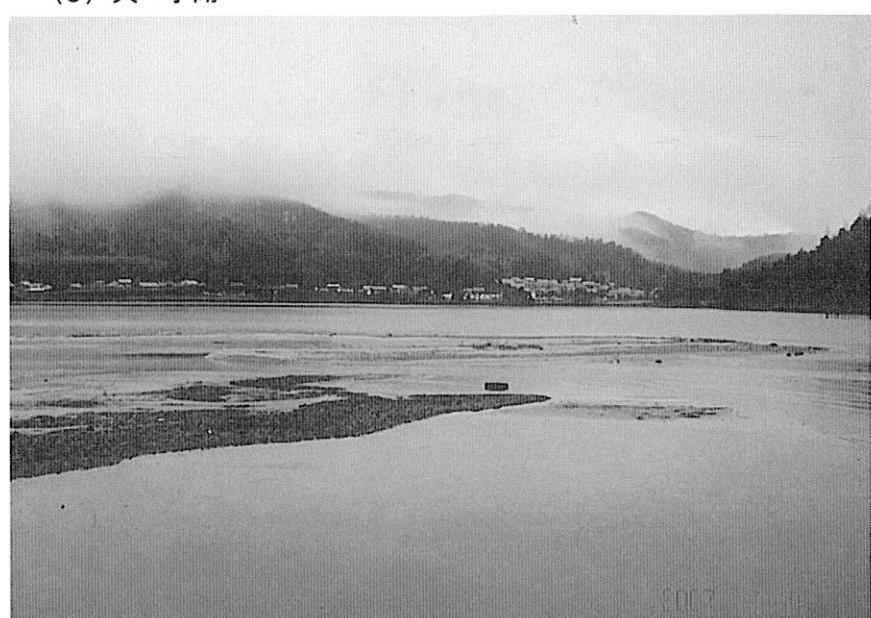
(7) 猪ヶ池



(8) 阿原ヶ池



(9) 久々子湖



(10) 菅 湖



(11) 三方湖



(12) 水月湖



(13) 小浜湾



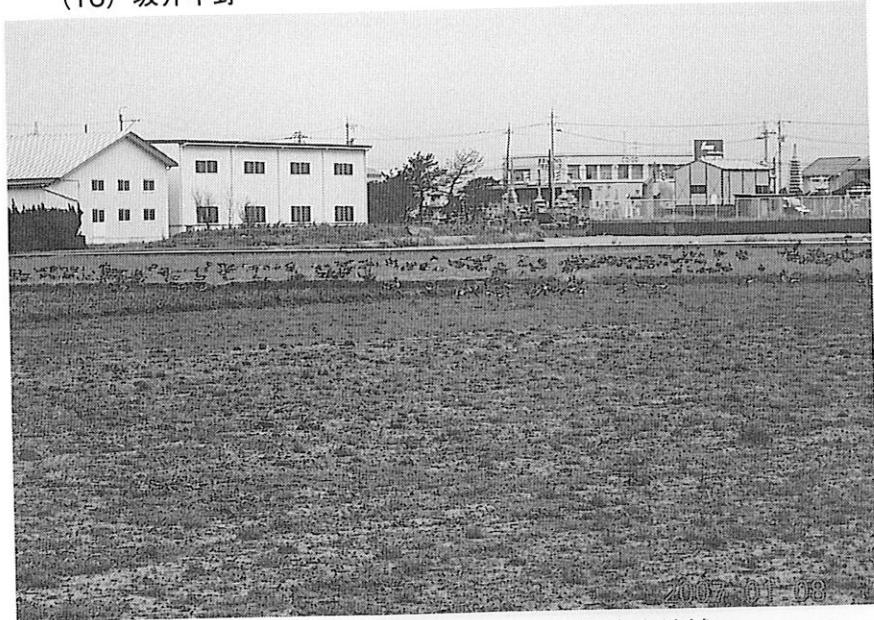
(14) 足羽川



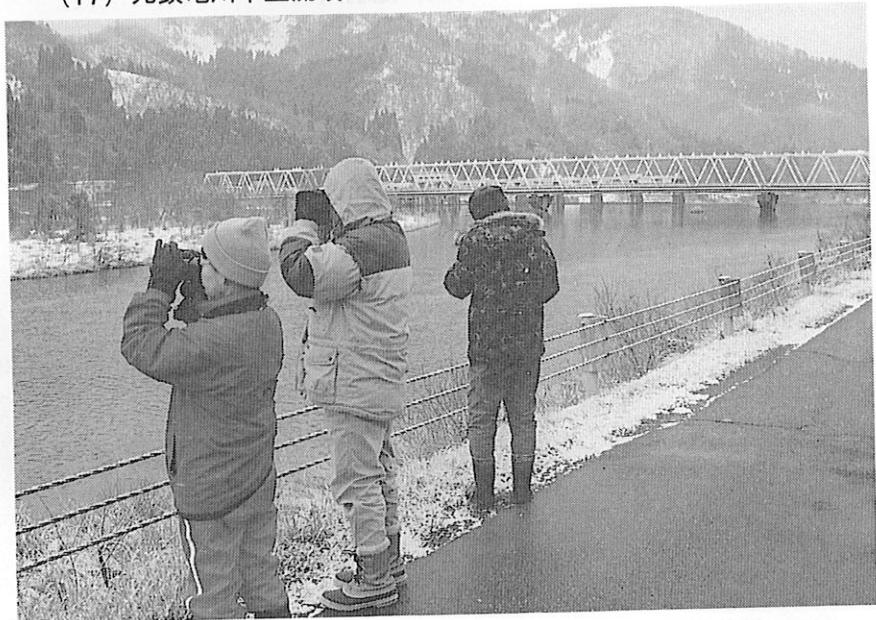
(15) 福井新港



(16) 坂井平野



(17) 九頭竜川中上流域



1. 調査の概要

(1) 経過

この調査は、昭和44年度から林野庁（昭和48年度から環境庁）の指示により、毎年1月15日を中心に取り組んでいるもので、今回は38回目である。昭和52年度からは、その業務の委託を請けた日本野鳥の会福井県支部が主要な調査業務として取り組んでいる。

(2) 調査の目的

福井県内に渡来するガンカモ科鳥類の渡来状況に関する基礎資料を収集し、鳥類保護行政に資するものとする。

(3) 調査実施者

福井県の委託を請けて、日本野鳥の会福井県支部が実施した。調査員はガンカモの識別能力があり、また過去にも調査経験のある会員91名で構成した。

(4) 調査日

坂井平野については平成19年1月8日、その他の調査地については平成19年1月14日に調査を実施した。

(5) 調査地

福井県から指定された湖沼、河川、内湾、平野部などの計17箇所で調査を実施した（第1図、第2図）。

(6) 調査及び分析

調査地の全域をカバーするように観察地点をいくつか設定し、調査地域内で観察されたガンカモ科鳥類の種とその個体数を記録した。各調査地には、3～18名を配置し、双眼鏡（8～20倍）及び望遠鏡（20～60）で種を判定し、その個体数を計数器により記録した。また、面積の広い調査地においては無線機などを使用し、鳥の移動による重複カウントを防止した。

調査結果をもとに、種構成、個体数、生息状況などの変化について過去の調査記録と比較し分析を行った。

2. 調査の結果と考察

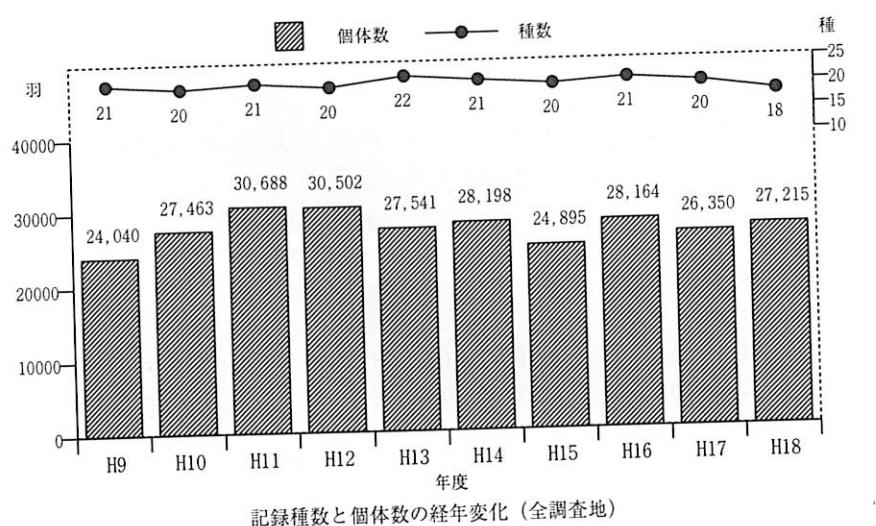
(1) 概要

調査の行われた1月8日は、気温が4℃で時々降雨があったもののガン類の調査は順調に行われた。また、14日は、気温が0℃～6℃で調査箇所により降雪などもあったがカモ類の調査は順調に行われた。計17箇所の調査地で、計18種27,215羽が記録された。昨年度に比較して種数は2種減少したもの、個体数は865羽増加した。個体数については、平成11年度および12年度には3万羽を超していたが、本年度も6年連続して3万羽を下回った。

計2種2,199羽のガン類と計15種24,970羽のカモ類が記録され、ハクチョウ類が1種46羽記録された。

昨年度に比べ、個体数が大幅に増加した種は、コガモとマガモであり、逆に減少した種はマガモであった。

また、優占度の高かった種は、マガモ(52.20%)、コガモ(12.53%)、カルガモ(10.98%)、マガモ(7.69%)などであった。逆に個体数の少なかった種は、ハシビロガモ(6羽)、ヒシクイ(19羽)、ホオジロガモ(32羽)、コハクチョウ(46羽)、などであつた。なお、オシドリが本調査上初めて記録されなかった(第3表)。



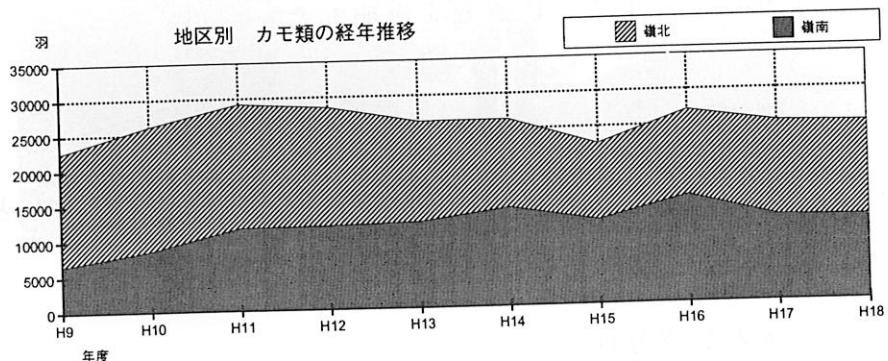
(2) 調査地別

種数では、菅湖で最も多い14種が記録され、次いで日野川で12種、三方湖、水月湖および九頭竜川中上流域で11種、小浜湾で10種が記録された(第1表)。昨年度に比べ種数が増加した調査地は5箇所あり、2種増加した福良ヶ池と日野川、1種増加した九頭竜川中上流域、猪ヶ池、水月湖および菅湖などであった。逆に減少した調査地は8箇所であった。

個体数では、日野川で最も多い4,122羽が記録され、次に菅湖で3,911羽、小浜湾で2,416羽が記録された(第1表)。昨年度に比べ個体数が増加したのは10調査地で、日野川(1,454羽増)で最も多く、坂井平野(1,109羽増)、足羽川(1,069羽増)などであった。逆に個体数が減少したのは7調査地で、そのうち小浜湾(1,673羽減)、北潟湖(1,649羽減)、大堤(1,431羽減)で大きく減少した。

なお、個体数は嶺北・嶺南地方ともにやや減少した。嶺北地方は平成11年度以降減少傾向にあり本年もこの傾向に変化が無く、今後の動向を見る必要がある。

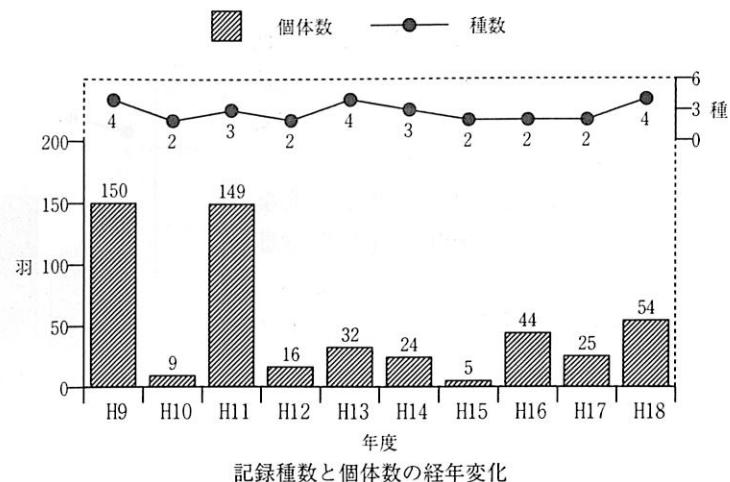
また、三方五湖全体では、一昨年度は昭和61年度以降最高の個体数を記録したが、本年度は平年並みとなった。



【福良ヶ池】

昨年度に比べ、種数は2種増加、個体数は29羽増加した(右図)。この変化は、マガモが27羽増加したことによると起因している。

当調査地では、池の面積(3ha)が狭いためカモ類の警戒心が強く、その個体数は毎年安定していない、その状況を考慮しても、マガモの記録個体数は平成6年度をピークに減少傾向にある、キンクロハジロが11年ぶりに記録された。

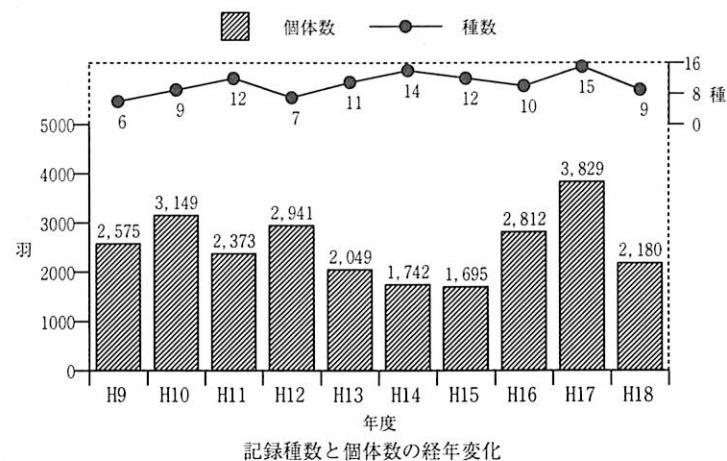


【北潟湖】

昨年度に比べ、種数で6種減少、個体数は1,649羽減少した(右図)。この個体数の変化は、マガモが937羽減少し、マガンが440羽減少したことによるものである。

当調査地では、平成3年度以来個体数が減少傾向にあり、昨年度は3,000羽を超え平成10年度以来の記録となつたが本年度は大きく減少した。

種別では、マガモが13年度から3年続き1,000羽以下となっていたが、ここ3年は1,000羽を上回っている。

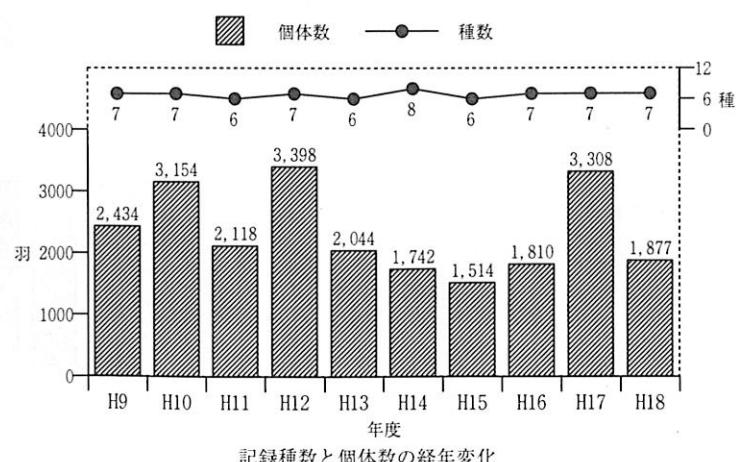


【加戸大堤】

昨年度に比べ、種数は同種で、個体数は1,431羽減少した(右図)。この個体数の変化は、マガモが1,053羽、ヒドリガモが344羽それぞれ減少したことによると起因している。

当調査地では、北潟湖同様に個体数が減少傾向にあるり、昨年度は3,000羽を超え平成12年度以来の記録となつたが本年度は一昨年と同程度となった。これは、この池の代表種であるマガモの増減が大きく影響している。

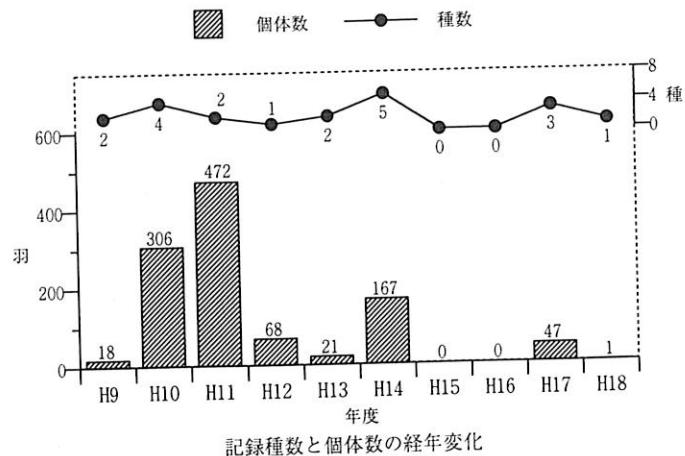
また、当調査地は、9haとさほど大きくなない池であるが、カモ類の密度は209羽/haと県内で最も高い。



【九頭竜川河口域】

昨年度に比べ、種数は2種減少し、個体数は46羽減少した(右図)。この個体数の変化は、マガモ、コガモ、カルガモが確認されなかつことに起因している。

当調査地は、県内でのヒシクイの主な渡来地となっており、例年、採餌や休息などの群が確認されているが、本年度は、前日の悪天候の影響で大きな群れは確認されなかつた。

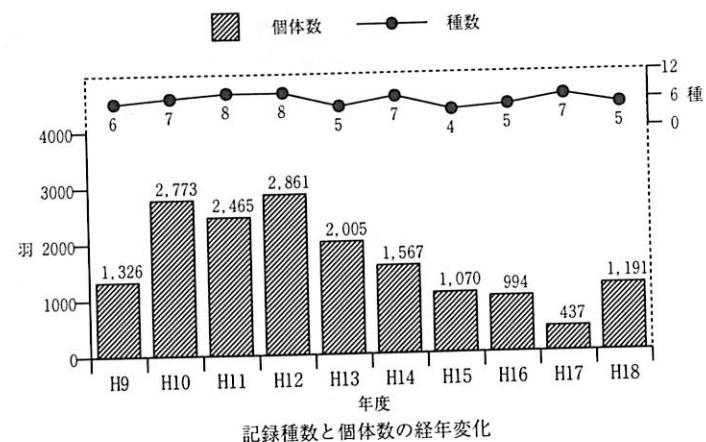


【九頭竜川中流域】

昨年度に比べ、種数は2種減少し、個体数は754羽増加した(右図)。この個体数の変化は、マガモが337羽、カルガモが225羽、コガモが212羽それぞれ増加したことによ因っている。

当調査地の記録個体数は、平成2年度をピークに減少傾向にあり、本年度もその傾向に変化は見られず、平成13年度まで2,000羽以上の記録があったものの昨年一昨年度と1,000羽以下となつたが、本年度はやや増加した。

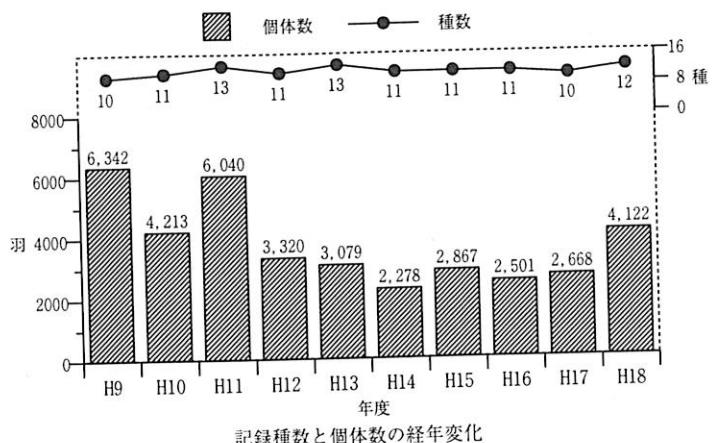
カワアイサは平成15・16年度は確認されなかつたが本年度は9羽確認された。



【日野川】

昨年度に比べ、種数は2種増加し、個体数で1,454羽増加した(右図)。この個体数の変化は、マガモが788羽増加し、コガモが514羽、カルガモが143羽それぞれ増加したことに起因している。

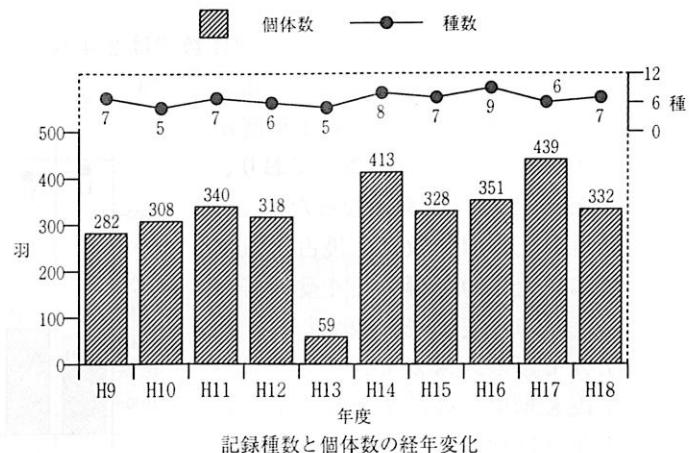
当調査地の記録個体数は、平成11年度以前は、全調査地のなかで最も多い記録を継続していたが、近年減少傾向にある。コハクチョウは平成10年度を除き、平成6年度から連続して確認されている。



【猪ヶ池】

昨年度に比べ、種数で1種増加し、個体数で107羽減少した。これは、マガモが116羽減少したことに起因している（右図）。

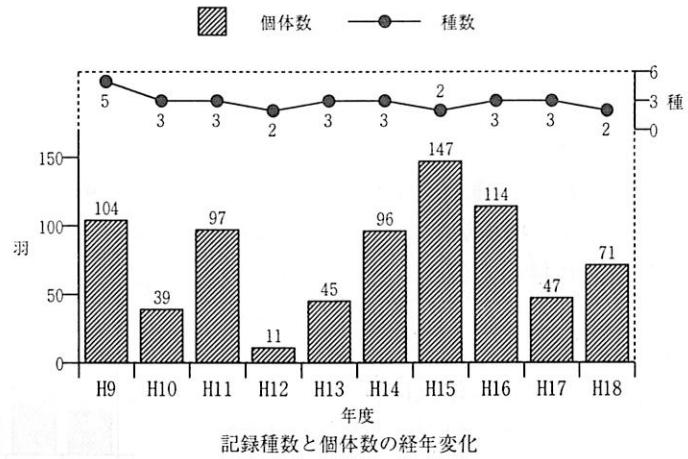
当調査地では、平成7年度に記録種数と個体数が減少したが、平成8年度以降増加する傾向にある。また、オシドリは、平成8年度には56羽記録されて以降減少しており、本年度は確認されなかった。



【阿原ヶ池】

昨年度と比較して、種数で1種減少、個体数は24羽増加した（右図）。これは、コガモ32羽増加したことに起因している。オシドリは、本年度は確認されなかった。

当調査地は、積雪の影響を大きく受けるため、毎年の記録個体数は不安定なものとなっている。

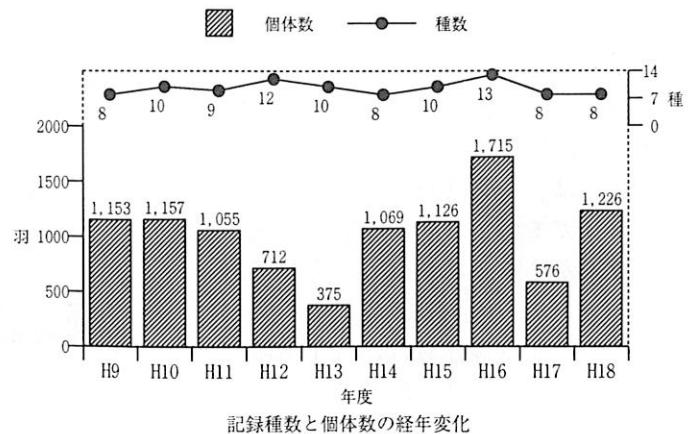


【久々子湖】

昨年度に比べ、種数は同種、個体数は650羽それぞれ増加した（右図）。この個体数の変化は、キンクロハジロが207羽、カルガモが191羽、ホシハジロが87羽それぞれ増加したことによる。

当調査地の記録個体数は、平成7年度から7年連続して減少し、平成13年度は昭和61年度以降最低となった、14年度以降は増加傾向に転じている。

周辺の開発が三方五湖の中でも最も進んでいることから、その因果関係を含め個体数の変化が注目される。



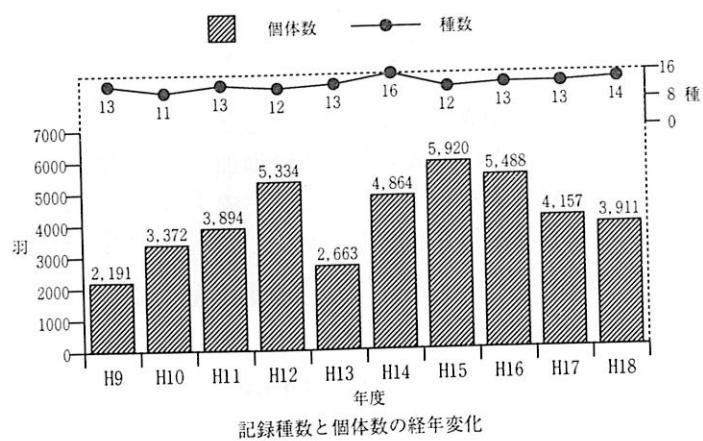
【菅 湖】

昨年度に比べ、種数は1種増加で、個体数では246羽減少した(右図)。この個体数の変化は、マガモが184羽減少したことによる。

当調査地の記録種数は、平成4年度から全調査地の中で上位に位置しており、本年度も日野川に次ぐ記録となった。

当調査地の記録個体数は、優占するマガモの個体数変化の影響を強く受けており、本年度は昨年度に続き減少した。なお、潜水カモ類のスズガモ、キンクロハジロが平成8年度以降減少傾向にあり、平成14年度は増加したもののが4年連続個体数は減少した。

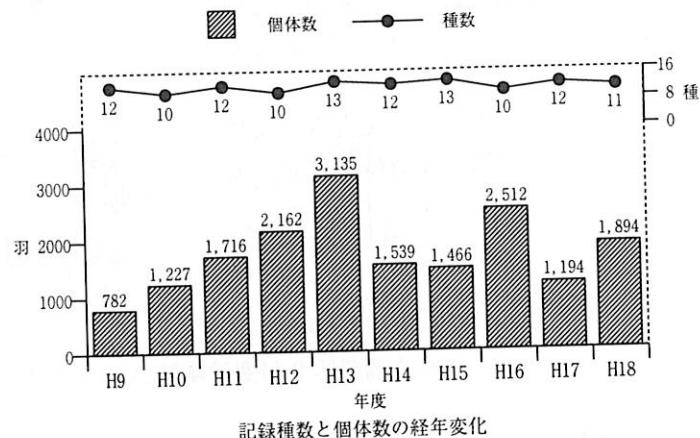
また、コハクチョウが当調査地で昭和61年度以降初確認となった。近隣で試行されている「ふゆみずだんば」に飛来が確認されていることから、この影響と考えられる。



【三方湖】

昨年度に比べ、種数で1種減少し、個体数では700羽増加した(右図)。この個体数の変化は、コガモが400羽、マガモが226羽それぞれ増加したことによる。

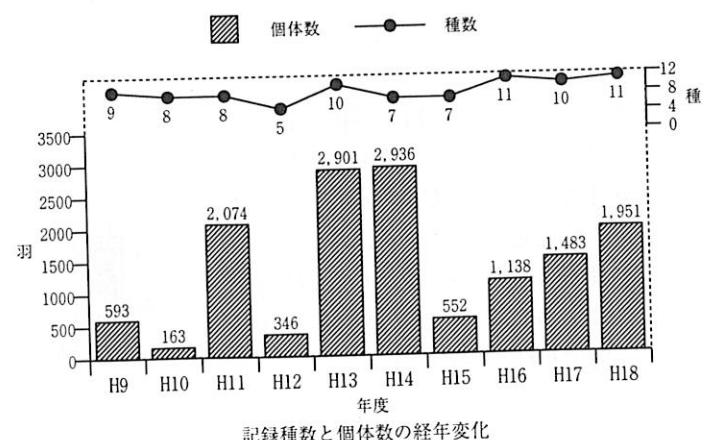
当調査地の記録個体数は、平成5～7年度にかけては増加傾向、平成9年度は大幅に減少、その後は増加傾向に転じ、平成13年度は昭和61年度以降最高の個体数を記録したが、その後は増減を繰り返しており、潜水ガモ類の個体数が影響している。



【水月湖】

昨年度に比べ、種数は1種増加し、個体数は468羽増加した(右図)。この個体数の変化は、キンクロハジロが542羽、ヒドリガモが108羽それぞれ増加し、マガモが251羽減少したものである。

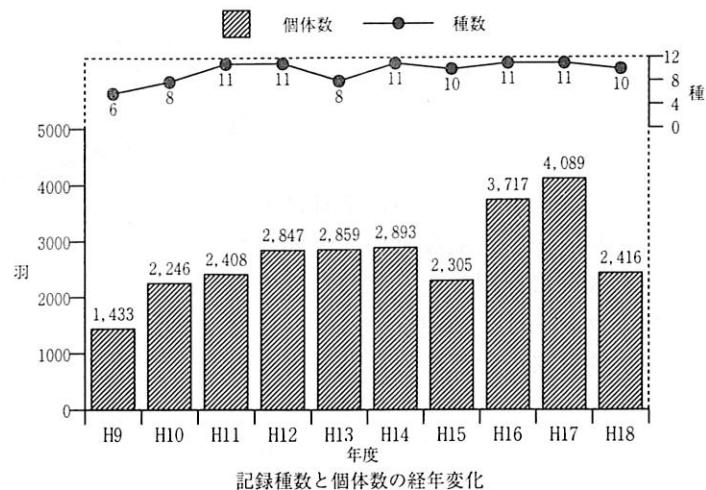
当調査地の記録個体数は、毎年増減が激しく、平成14年度は昭和61年度以降最高を記録したが、平成15年度は大きく減少したものここ3年間は安定している。



【小浜湾】

昨年度に比べ、種数は1種減少し、個体数は1,673羽減少した(右図)。この個体数の変化は、マガモが800羽、スズガモが685羽それぞれ減少したものである。

当調査地の記録個体数は、増加傾向にあり、昨年度は4,000羽を越し昭和61年度以降最高の確認数となつたが、本年度は減少した。



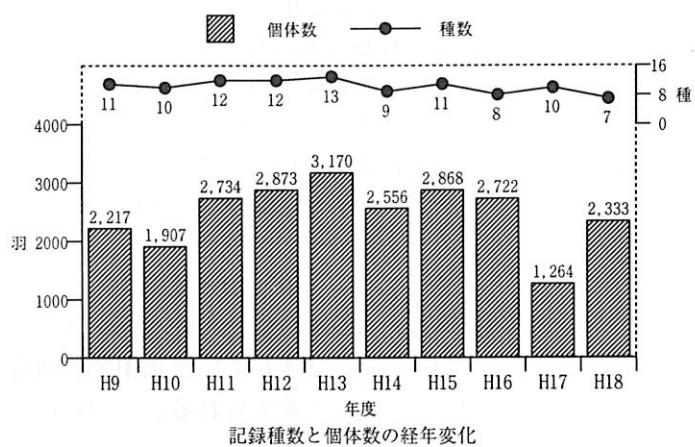
【足羽川】

昨年度に比べ、種数で3種減少し、個体数で1,069羽増加した(右図)。この個体数の変化は、ヒドリガモが390羽、マガモが290羽、コガモが264羽、カルガモが110羽それぞれ増加したことによつて起因している。

当調査地は、平成7年度以前も日本野鳥の会福井県支部で独自に調査が行われている。その結果も含めると、記録個体

数は、平成6年度以降減少傾向にあったが、平成10年度を最低に増加傾向に転じている。

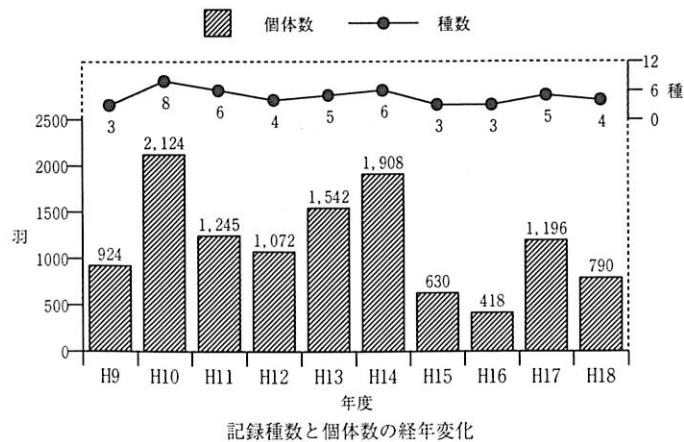
なお、当調査地はハシビロガモやカワアイサの県内の主要な渡来地になっており、本年度はカワアイサは記録されたものの、ハシビロガモは平成8年度以降減少傾向が見られ、4年連続して記録されていない。



【福井新港】

昨年度に比べ、種数で1種減少し、個体数で406羽減少した(右図)。この個体数の変化は、カルガモが172羽、ヒドリガモが142羽それぞれ減少したことによつて起因している。

また、近年船舶の入港数が増加し、1~2隻が港中央部に停泊もしくは作業を行っていることが多くなり、カモ類の個体数の減少に影響を与えているものと考えられる。



【坂井平野】

昨年度に比べ、種数は同種で、個体数で1,109羽増加した（右図）。この個体数の変化は、マガソが1,476羽増加し、ヒシクイが310羽、コハクチョウが57羽それぞれ減少したことによる。

本年は調査を予定していた7日に大型の低気圧が通過し台風なみの悪天候のため調査を8日に延期した。北潟湖畔での飛来数カウントは7:00～8:30に行なったが、前日來の強風のため通常より極端に少なかった。さらにその殆んどが片野方面へ飛去する状況で、マガソが85羽、ヒシクイ18羽、コハクチョウ2羽であった。マガソ2羽のみが坂井方面へ飛去した。日の出時刻におけるこれらの

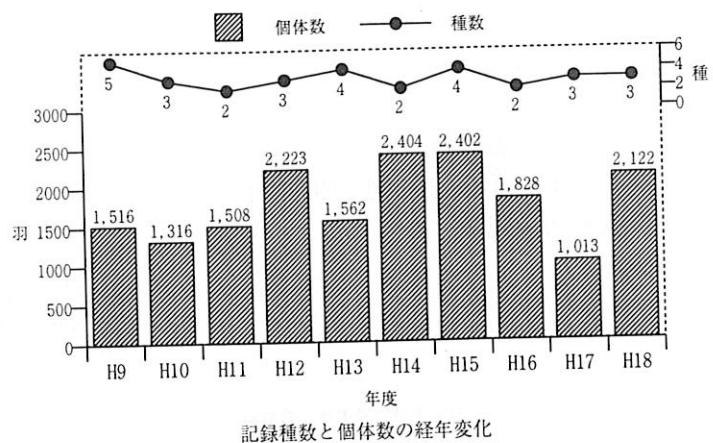
確認は通常とは全く異なる行動であった。前日の強風のため片野へ戻らずにそのまま坂井平野一帯で夜を過ごしたものと考えられ、北潟湖畔での片野方面へ飛去する行動となったものと考えられる。

コハクチョウは9羽が確認された。今期は通常30～40羽が確認されている。また、コハクチョウは、北潟湖畔近くにある北潟東地区の水田で、通常60羽前後が確認されている。

今期の観察では、マガソが約1,800～2,000羽が確認されており、これに混じってカリガネ2羽が確認されているが、今回の調査では確認出来なかった。また、ヒシクイは例年より極端に少なく、通常は10羽程度であり、希に80～100羽が確認されるのみである。

なお、今期は、標識されたガソ類は確認されていない。

また、調査中にガソ類の群れの降りていた水田で、耕作者の爆竹などによる追い出し行為があったが、麦の食害をおそれてのものと考えられる。



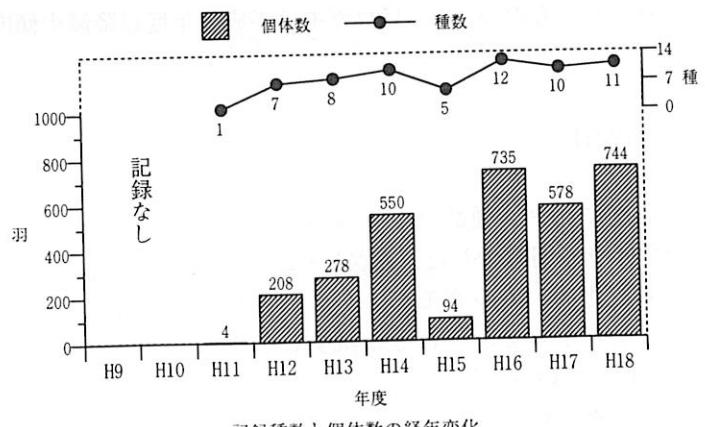
記録種数と個体数の経年変化

【九頭竜川中上流域】

昨年度から調査地となった。平成11年度から日本野鳥の会福井県支部で独自に調査が行われており、その調査結果と比較する。

昨年度に比べ、種数は1種増加し、個体数は166羽増加した（右図）。この個体数の変化は、コガモが170羽増加したことによる。

当調査地の記録個体数は不安定であるが、ここ3年は安定傾向にある。



記録種数と個体数の経年変化

指定調査地以外の地域でも調査を実施したので、記録を参考までに掲げておく。

【永平寺町 鳴鹿大堰 九頭竜川中上流域】

1月13日に、7種187羽が記録された。
マガモ 124羽、カルガモ 13羽、コガモ 27羽、オカヨシガモ 2羽、ホオジロガモ 9羽、
カワアイサ 11羽、ミコアイサ 1羽

【九頭竜川上流域】

1月15日に、4種108羽が記録された。
<和泉村 九頭竜ダム> マガモ 21羽、コガモ 1羽、カワアイサ 6羽
<大野市 仏原ダム> マガモ 11羽、カルガモ 15羽、カワアイサ 10羽
<その他> (和泉村下山付近の九頭竜川にて マガモ 24羽、コガモ 14羽、
カワアイサ 6羽)

【真名川ダム】

1月14日に、7種652羽が記録された。
マガモ 328羽、カルガモ 138羽、コガモ 151羽、オナガガモ 7羽、
ホシハジロ 17羽、キンクロハジロ 3羽、カワアイサ 8羽

【鯖江市 河和田川】

1月14日に、2種19羽が記録された。
オシドリ オス 7羽 メス 5羽、カルガモ 7羽

【敦賀市 中池見】

1月14日に、3種36羽が記録された。
マガモ 8羽、カルガモ 1羽、コガモ 27羽

3. ガンカモ科以外の鳥類

ガンカモ科の鳥類以外に、計11目26科68種が記録された（第2表）

4. 過去における結果の集計

今回の委託調査にあたり、昭和44年度以降、福井県内で実施された調査資料を年度別に集計し、対比し参考とする（第3表、第3図、第4図）。

ガンカモ科鳥類生息調査事業実施要領

1. 目的

本事業は、福井県内に渡来するガンカモ科の渡来状況に関する基礎資料を収集し、鳥獣保護行政に資するため実施する。

2. 調査実施者

本事業は、日本野鳥の会福井県支部に委託して実施するものとする。

3. 調査地

(調査地は、別紙参照で省略する)

4. 調査方法

調査は、それぞれの調査地に定点及びルートを設けて、その地域に生息するガンカモ科鳥類の種類別渡来数及び生息状況等について行うものとする。

5. 調査期日

平成19年1月7日(日)および14日(日)とする。ただし、天候または調査員の都合により同日における調査が不可能な場合は、1月7日から21日の間に実施して差し支えない。

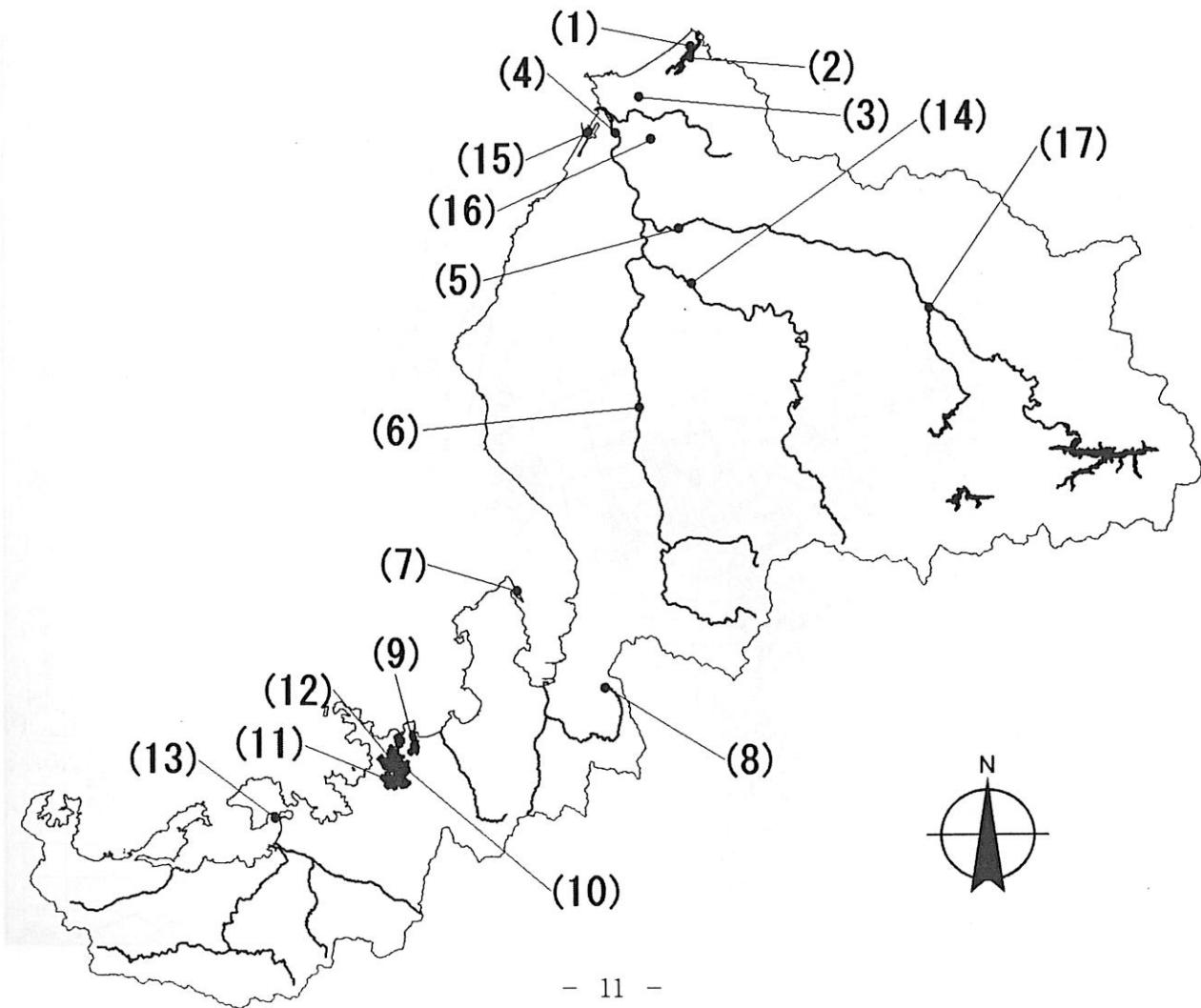
調査時間帯は、ガンカモ科鳥類の渡来数の最も安定する午前中とする。

第6項、7項については省略する。

第1図

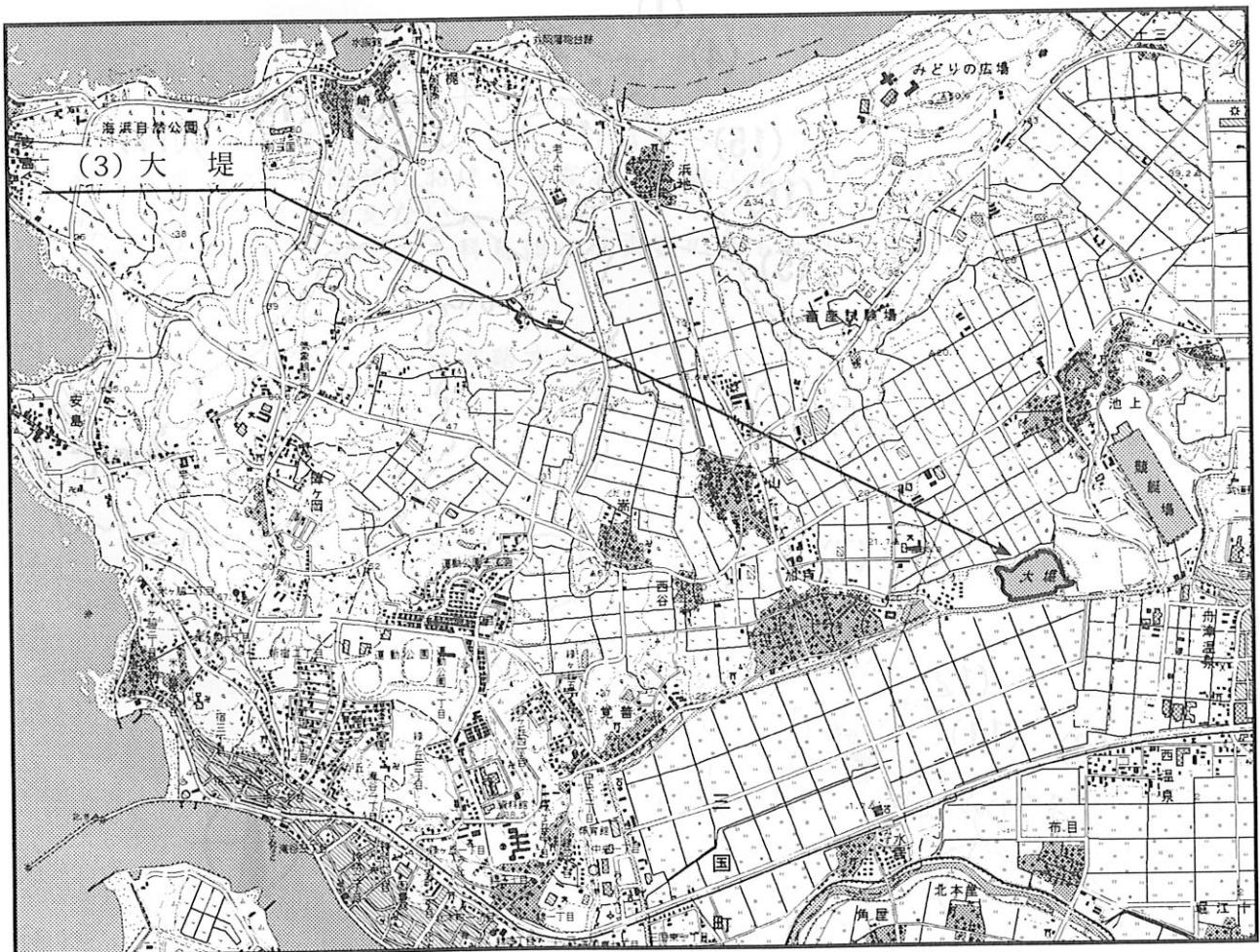
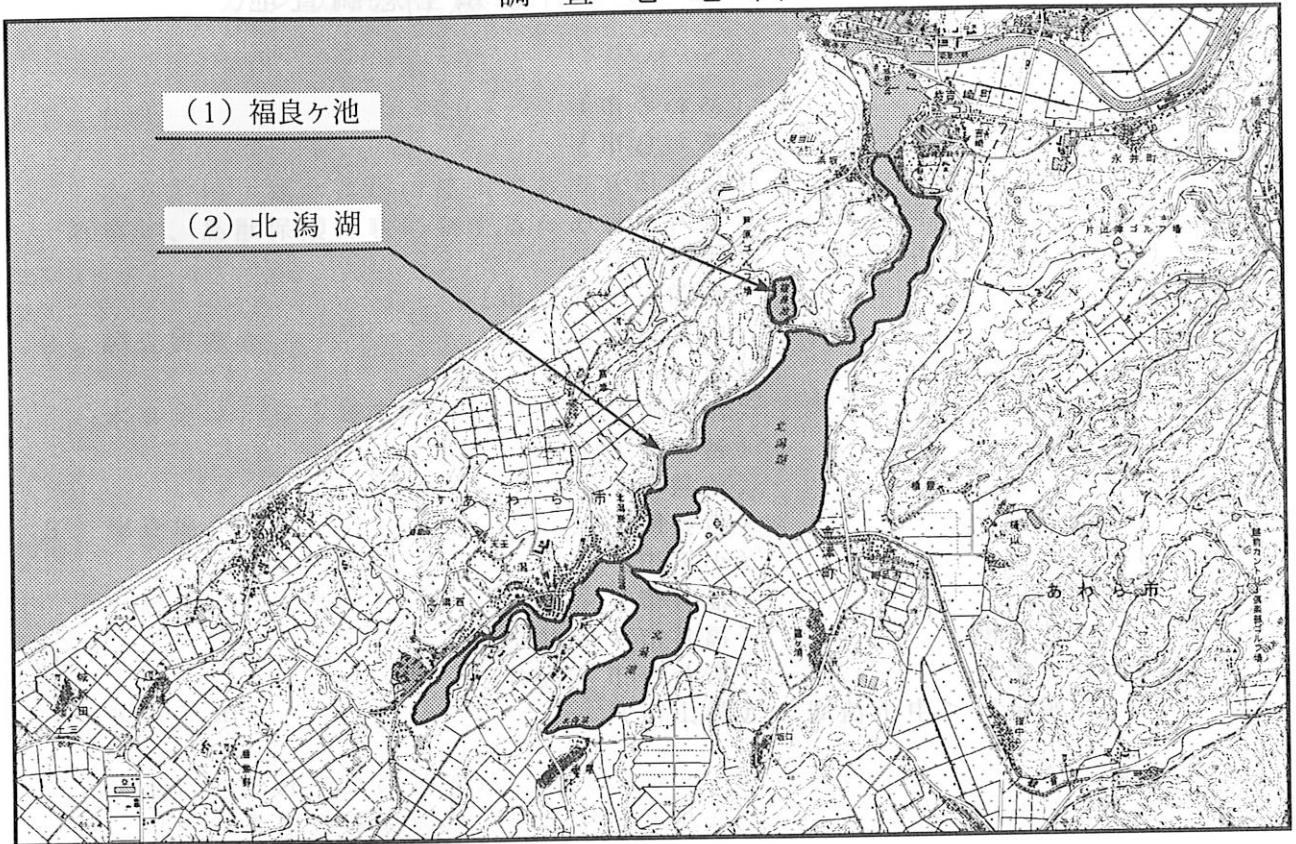
平成18年度 ガンカモ科鳥類生息調査地

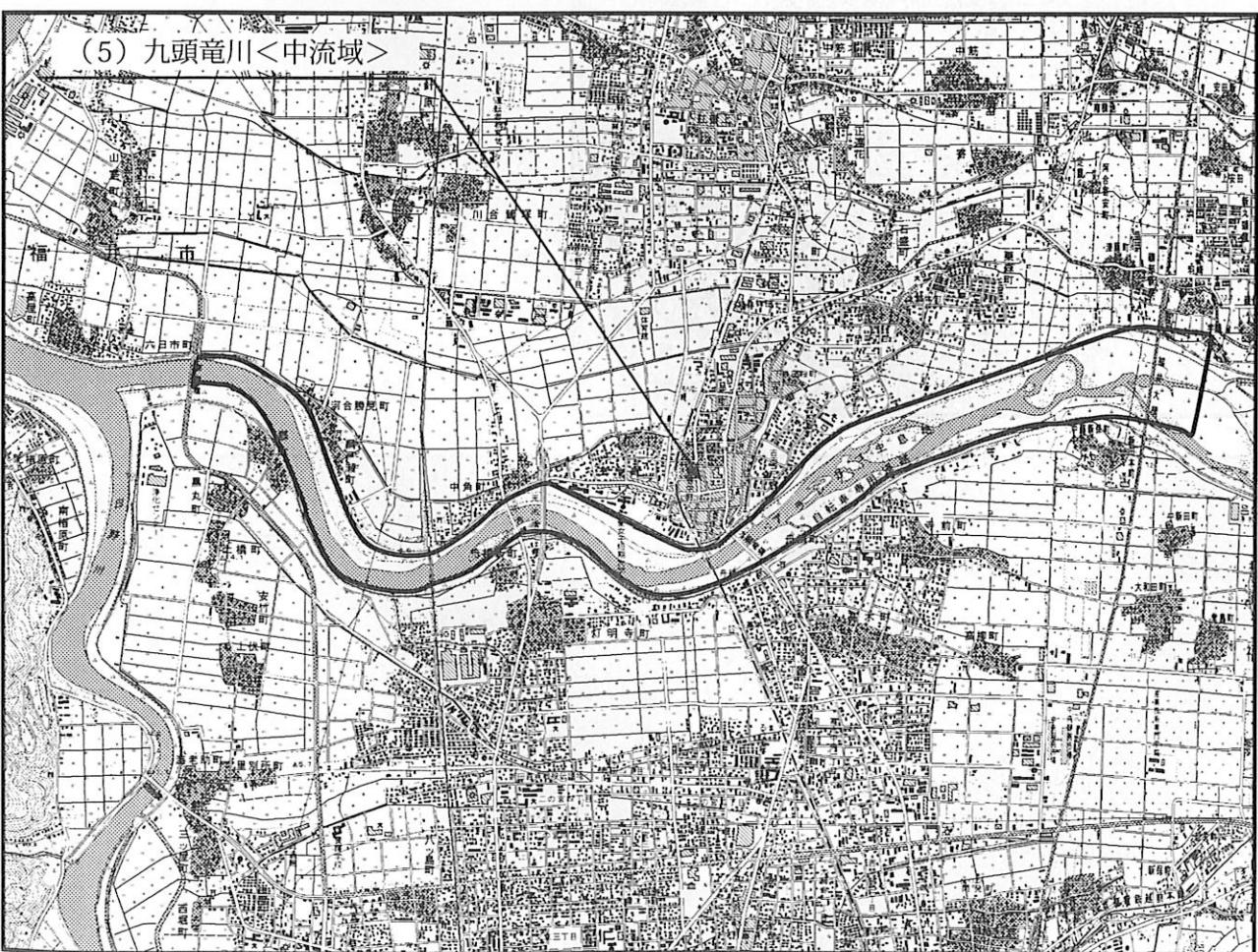
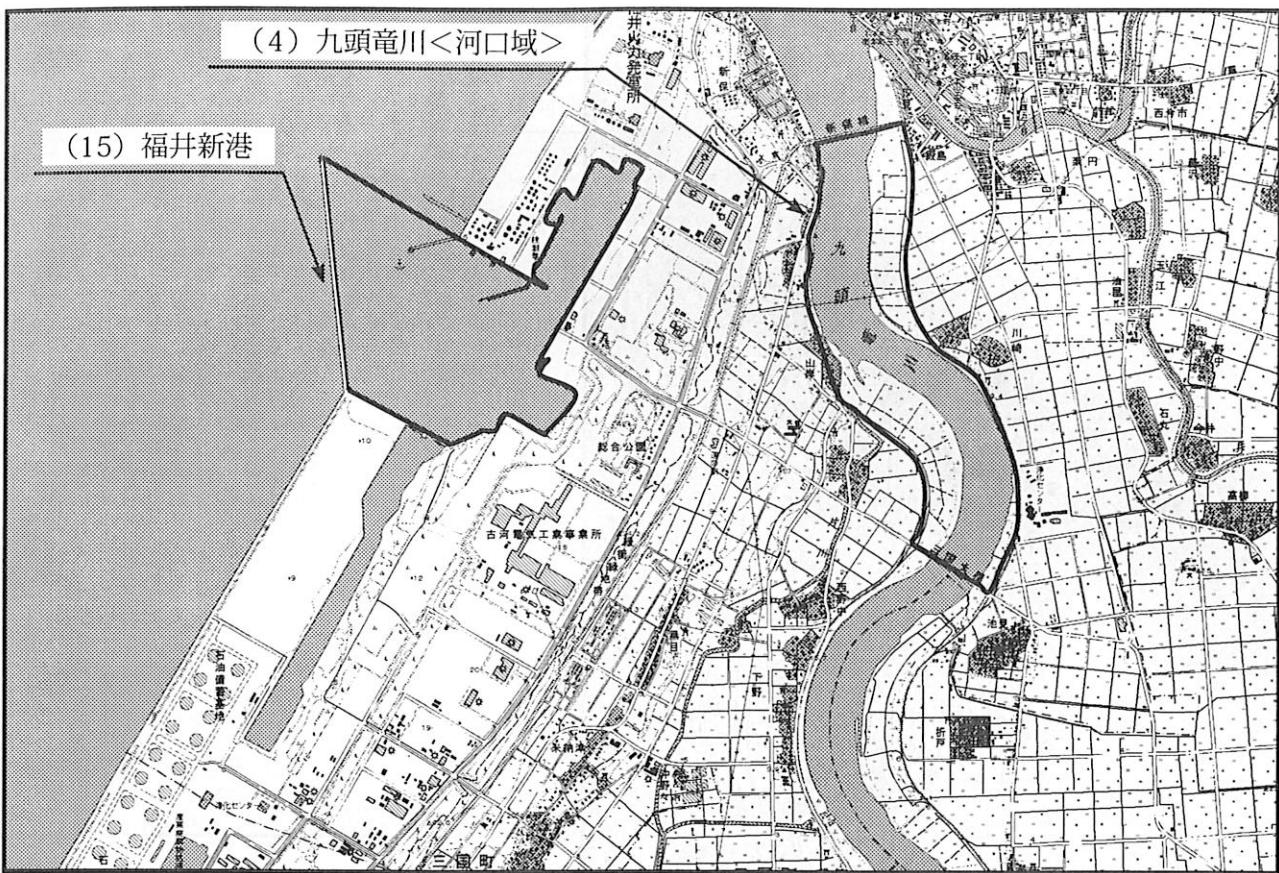
- | | |
|-----------------|------------|
| (1) 福良ヶ池 | (あわら市) |
| (2) 北潟湖 | (あわら市) |
| (3) 大堤 | (坂井市) |
| (4) 九頭竜川<河口域> | (坂井市) |
| (5) 九頭竜川<中流域> | (福井市) |
| (6) 日野川 | (越前市・鯖江市) |
| (7) 猪ヶ池 | (敦賀市) |
| (8) 阿原ヶ池 | (敦賀市) |
| (9) 久々子湖 | (美浜町) |
| (10) 菅湖 | (若狭町) |
| (11) 三方湖 | (若狭町) |
| (12) 水月湖 | (若狭町) |
| (13) 小浜湾 | (小浜市) |
| (14) 足羽川 | (福井市) |
| (15) 福井新港 | (福井市・坂井市) |
| (16) 坂井平野 | (あわら市・坂井市) |
| (17) 九頭竜川<中上流域> | (勝山市) |

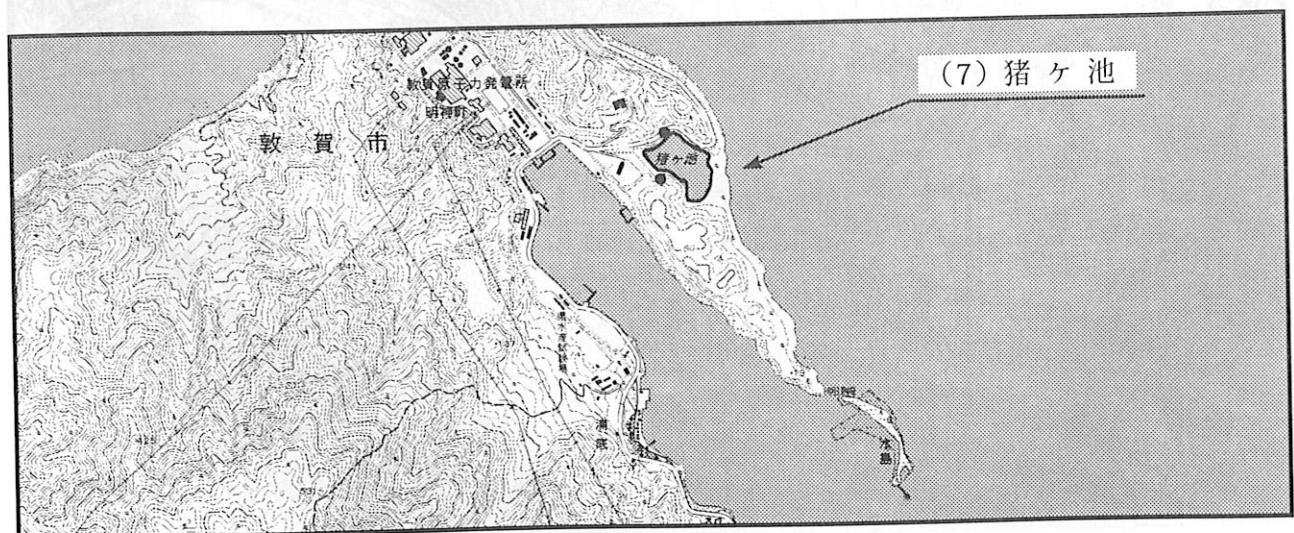
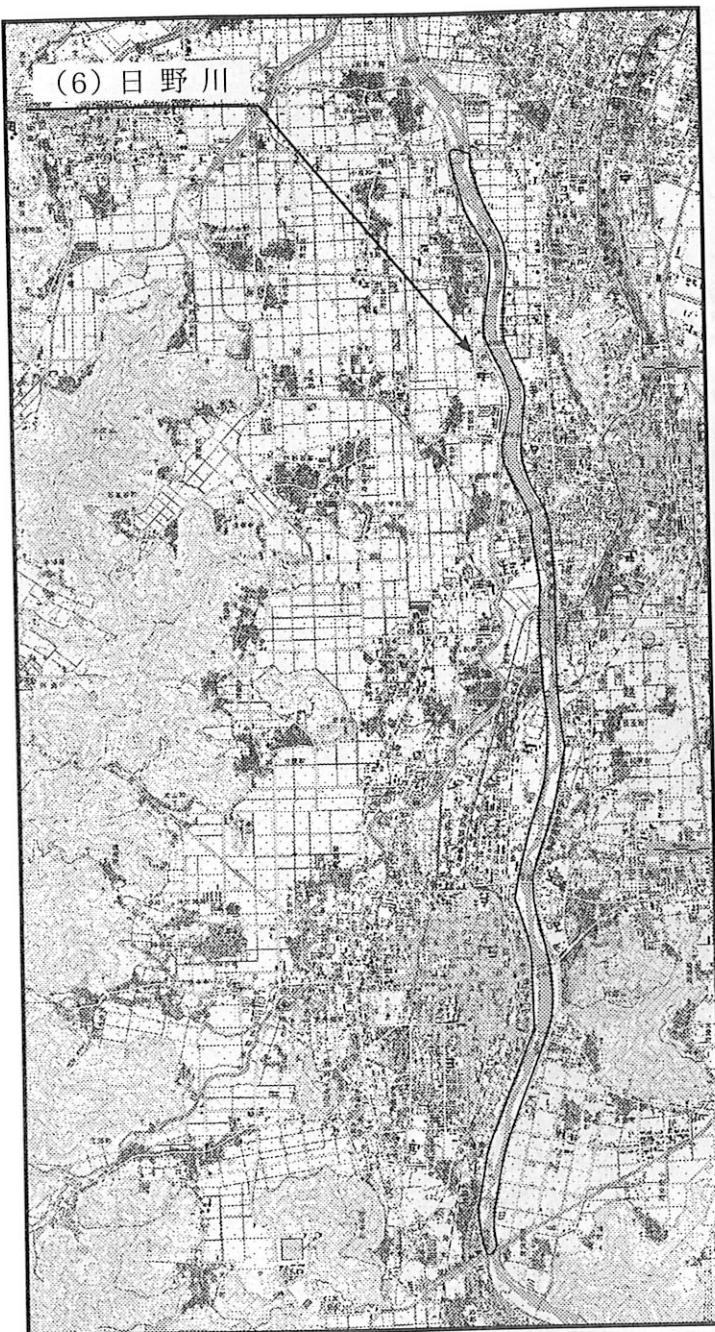


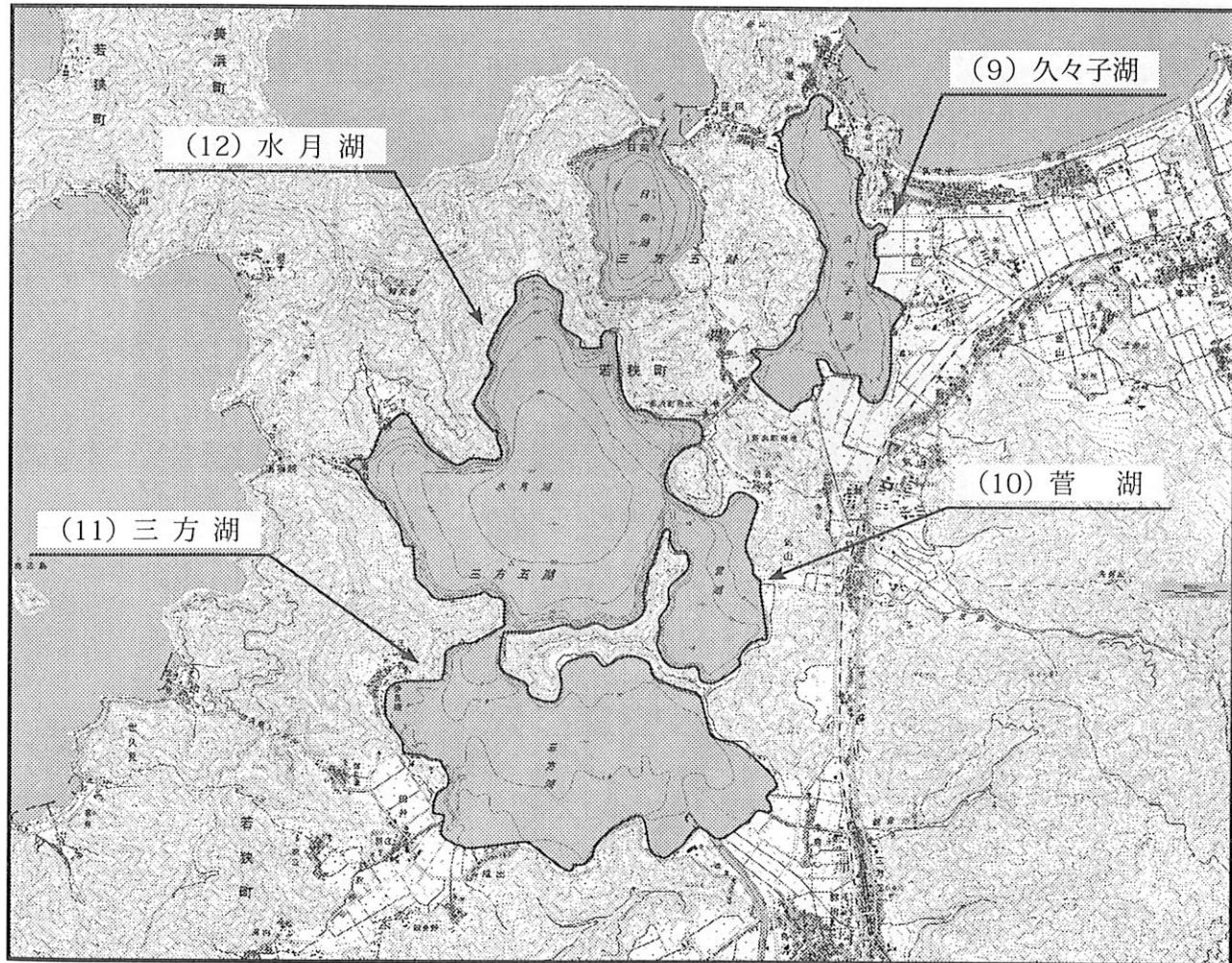
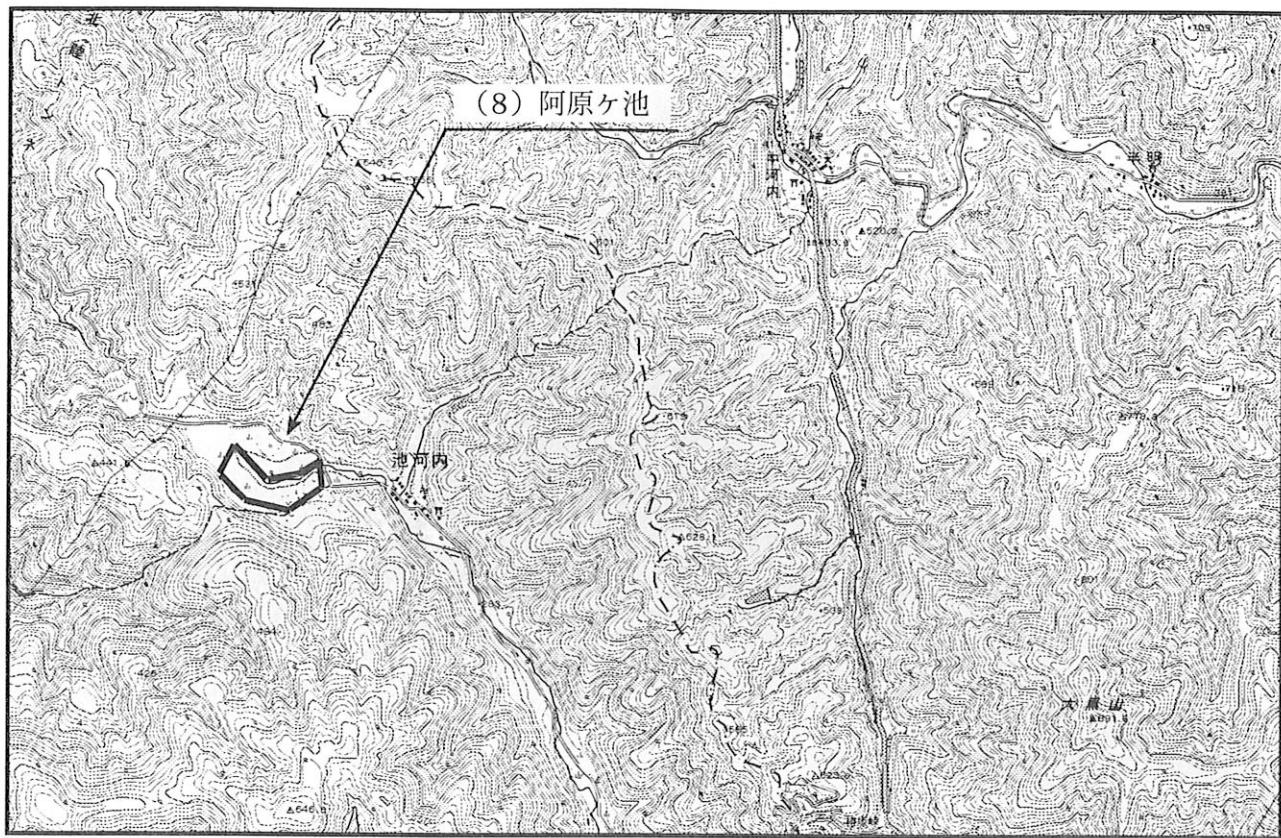
第2図

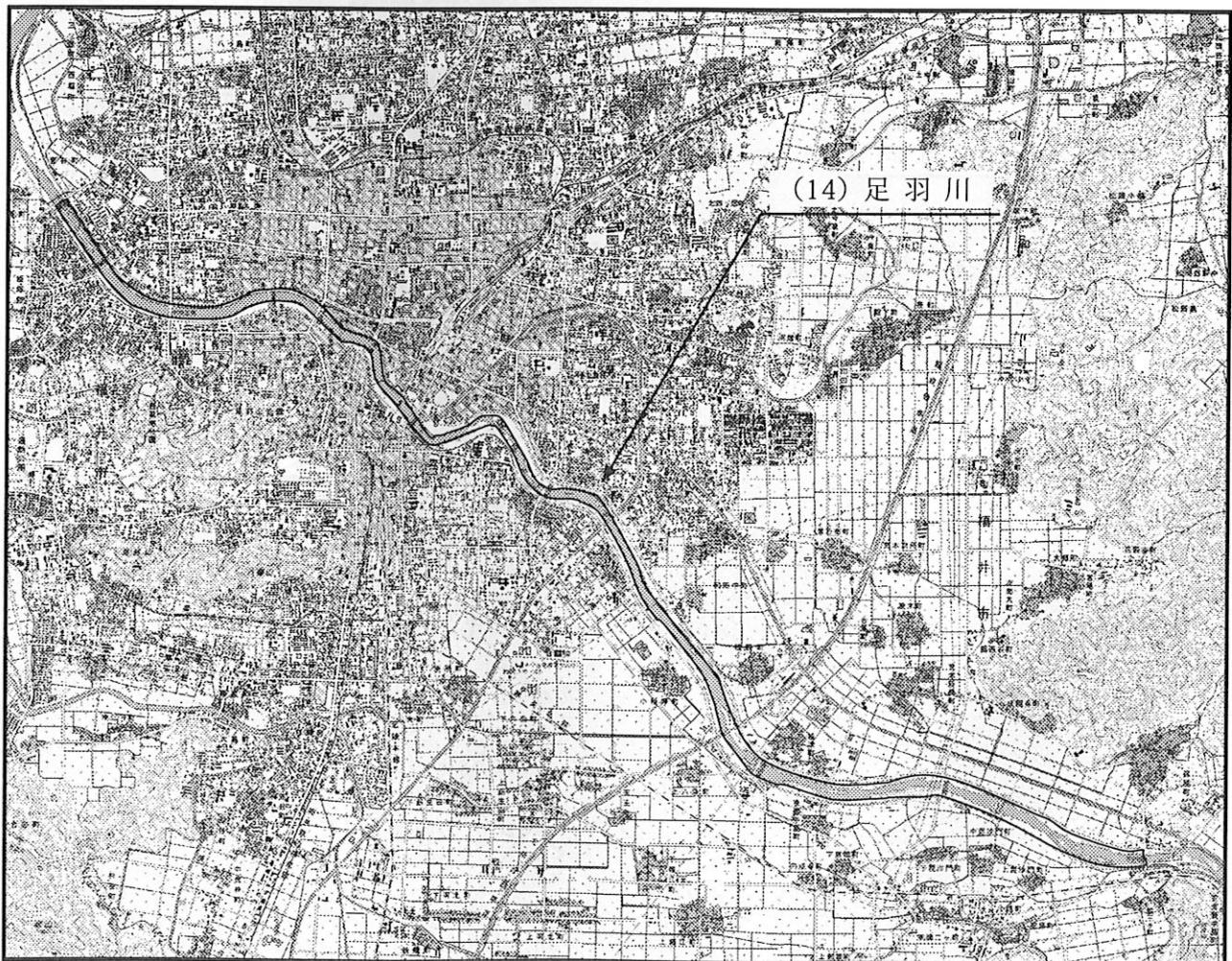
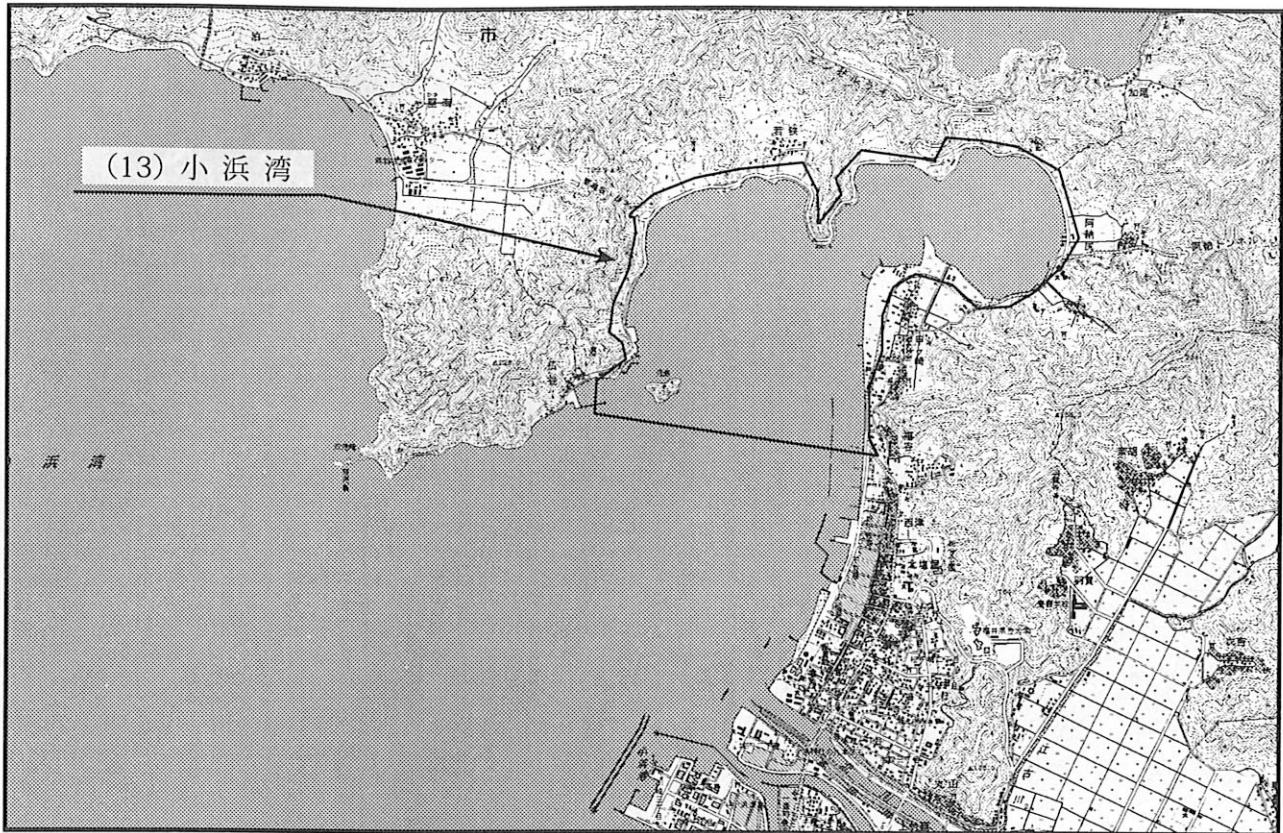
調査地地図

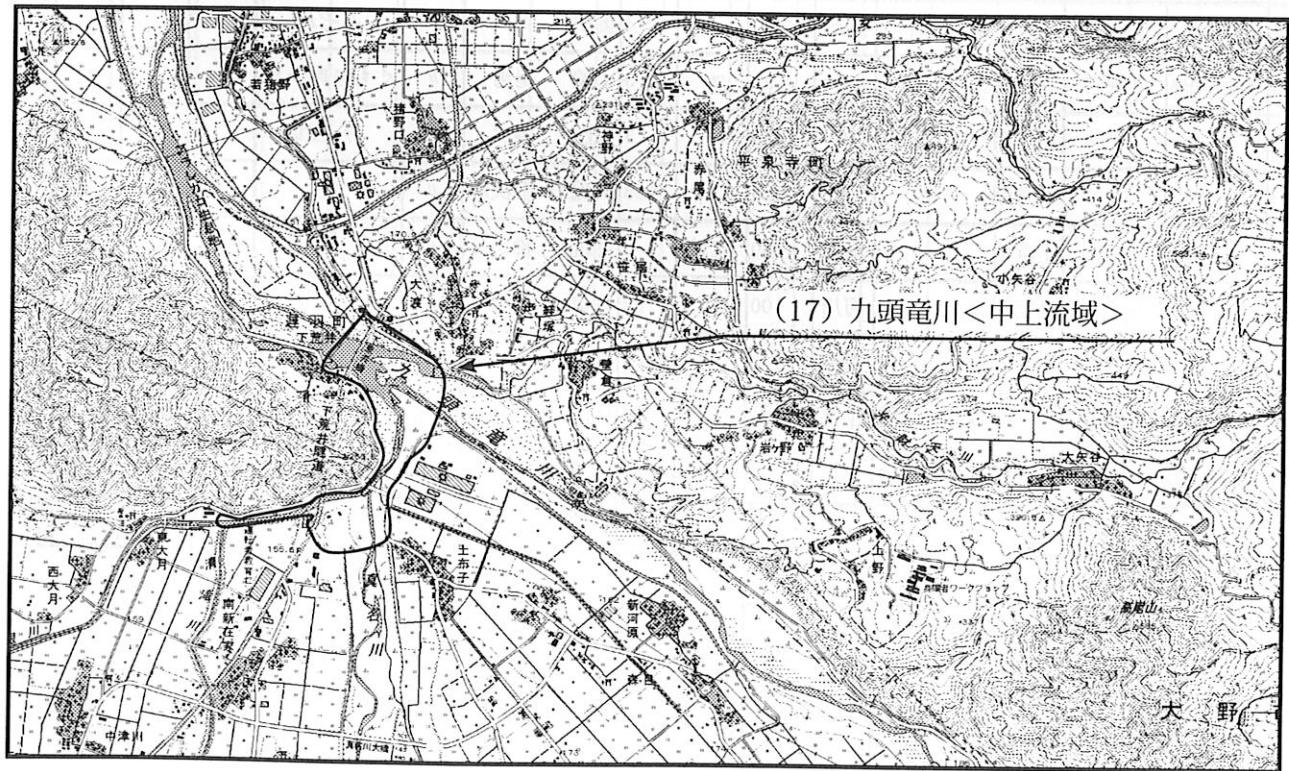
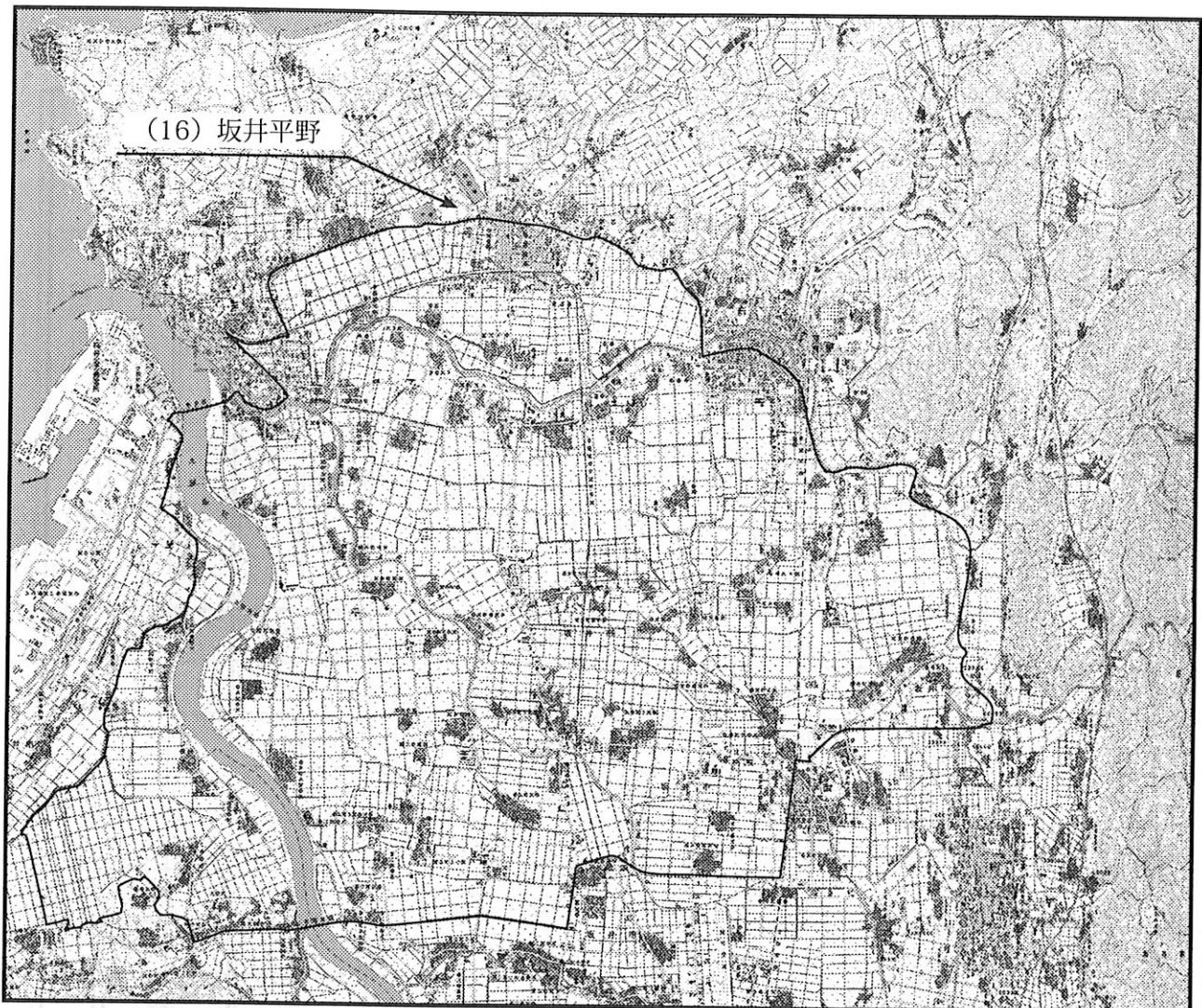












第1表

調査結果表

番号	調査地				調査面積ha	鳥獣保護区等の区分	調査員	調査員代表	調査月日	天候	ガン類		
	郡市	町村	地名	地況							マガソ	ヒシクイ	ガン類不明種
1	あわら市		福良ヶ池	池	3	銃禁	3	瀬戸 靖夫	1/14	小雨後晴			
2	"		北潟湖	湖沼	230	保護	3	組頭 五十夫	"	"			86
3	"		大堤	池	9	"	3	河野 文明	"	曇			
4	"		九頭竜川河口流域	河川	20	その他	3	大橋 正明	1/8	"			
5	福井市		九頭竜川中流域	"	307	保護	4	土田 孝幸	1/14	小雨後晴			
6	越前市・鯖江市		日野川	"	220	銃禁	13	納村 力	"	曇			
7	敦賀市		猪ヶ池	池	6	保護	7	吉田 一朗	"	"			
8	"		阿原ヶ池	"	8	"	7	門前 孝也	"	"			
9	三方郡 美浜町	久々子湖	湖沼	140	"	4	堀田 高久	"	みぞれ				
10	三方上中郡 若狭町	菅湖	"	92	"	3	小嶋 明男	"	くもり時々雪				
11	"	"	三方湖	"	358	"	3	辻 義次	"	みぞれ			
12	"	"	水月湖	"	423	"	3	久保上 宗次郎	"	雪			
13	小浜市	小浜湾	海面	650	銃禁	3	井尻 雅己	"	くもり時々雪 または雨				
14	福井市	足羽川	河川	100	"	8	柳町 邦光	"	くもり				
15	"	福井新港	海面	140	"	3	鈴川 文夫	"	くもり時々雨				
16	あわら市・坂井市	坂井平野	平野	7,200	その他	18	柳町 邦光	1/8	"	2,094	19		
17	勝山市	九頭竜川中上流域	河川	38	休獵区	3	宇野 竜司	1/14	雪				
合計				9,944		91				2,094	19	86	

内訳	鳥獣保護区	9ヶ所
	銃獵禁止区	6ヶ所
	その他	2ヶ所

(平成18年度ガンカモ科鳥類生息調査 実施日 平成19年1月8日, 14日)

ハク チョ ウ類	カモ類														合計			
	マガモ	カルガモ	コガモ	トモエガモ	ヨシガモ	オカヨシガモ	ヒドリガモ	オナガガモ	ハシビロガモ	ホシハジロ	キンクロハジロ	スズガモ	ホオジロガモ	ミコアイサ				
コハク チョウ																		
	48	3									1				2	4	54	
	1,276	364	149		11		273		1	5	6				9	9	2,180	
	1,227		396	8	54		182	1							9	7	1,877	
							1									1	1	
	511	334	335				2								9	5	1,191	
25	2,410	605	950	1	2	22	56	23	2						1	25	12	4,122
	272	10			3		14	1			14				18	7	332	
	22		49													2	71	
	137	394				5	79			147	401	49	14			8	1,226	
12	3,786	2	3	2		8	35	22	2	3	30	1	3	2		14	3,911	
	626	398	523		53	10	95			60	101	1	13	14		11	1,894	
	962	23	16				116	67		23	716	12	2	13	1	11	1,951	
	1,407	235	344	54	17		65	6	1	13		274				10	2,416	
	870	420	467				509	47							7	13	7	2,333
	228	179	3				380									4	790	
9																3	2,122	
	425	21	176		7	3	83	3		11	13				1	1	11	744
46	14,207	2,988	3,411	65	147	48	1,890	170	6	262	1,282	337	32	76	49	18	27,215	

第2表

ガンカモ科以外の鳥類

番号	種名	場所														合計			
		福良ヶ池	北潟湖	大堤	九頭竜川河口域	九頭竜川中流域	日野川	猪ヶ池	阿原ヶ池	久々子湖	菅湖	三方湖	水月湖	小浜湾	足羽川	福井新港	坂井平野	九頭竜川中上流域	
1	カツブリ		7		2	5	15	7		1	4	14	11		3			2	71
2	ハジロカツブリ		4					1		7	4	8				3			27
3	カンムリカツブリ	3	12		13	1				10	15	16	18	6		4			98
4	カツブリSP													3					3
5	カワウ	5	19	8	9	40	63	19		21	17		21	3	28	7	8	19	287
6	ウミウ											45							45
7	ヒメウ															1			1
8	ダイサギ						15								2		1	2	20
9	チュウサギ						1					2		1					1
10	コサギ												2						3
11	アオサギ		3	1		2	14	2		1	1	4	6	1	4		2	1	42
12	ミサゴ		3	1	1					1		1	1	1			1		10
13	トビ	1	6		4		2	3	1	1	2	39	19	4	1	2	3	5	93
14	オオワシ												1						1
15	オオタカ						1								1				2
16	ノスリ		1			2	4	1					1		3			1	13
17	クマタカ								1										1
18	ハイイロチュウヒ						1										1		2
19	ハヤブサ		1											1		1			3
20	チョウゲンボウ															2			2
21	キジ					5	3								1				9
22	バン		1				2					39							42
23	オオバン		5					13		164	15	150							347
24	イソシギ												1						1
25	ユリカモメ												9						9
26	セグロカモメ									1		2	3	10					16
27	オオセグロカモメ								3										3
28	カモメ		2					1			1		3			1	1		9
29	ウミネコ							1		4									5
30	キジバト		2		10	34						2		2					50
31	カワセミ					1	4												5
32	アオゲラ	1							1										2
33	コゲラ							2	1										3
34	ツバメ						1												1
35	キセキレイ											3							3
36	ハクセキレイ						6								1		1		8
37	セグロセキレイ					7	10	2		2			2	2	3		3		31
38	ヒヨドリ	2	4		34	14	3	4		2	19	7	2	1					92
39	モズ					1	7		1					1	6				16
40	ミソサザイ								1								3		4
41	ジョウビタキ						3		1		2			1				2	9
42	イソヒヨドリ												2	3		1			6
43	シロハラ						1	2				6	6	1					16
44	ツグミ					1	16	29	4			16	2	1	9		300	2	380
45	ウグイス							1							2				3

番号	種名	場所															合計		
		福良ヶ池	北潟湖	大堤	九頭竜川河口域	九頭竜川中流域	日野川	猪ヶ池	阿原ヶ池	久々子湖	菅湖	三方湖	水月湖	小浜湾	足羽川	福井新港	坂井平野	九頭竜川中上流域	
46	エナガ		2				10					11						1	24
47	コガラ	3							3										6
48	ヒガラ							3											3
49	ヤマガラ							8	1									2	11
50	シジュウカラ	6				6	3	4		2	1	8	10	1				10	51
51	メジロ						5					6	10+					1	12
52	ホオジロ		2	1	22				2	2	31	12		36		4			112
53	カシラダカ			2	211					45	32			54					344
54	ミヤマホオジロ																	1	1
55	アオジ				10				2	1	1	12		3			1		30
56	アトリ			200	938									1					1,139
57	カワラヒワ			200	80									118		11			409
58	マヒワ							12											12
59	ベニマシコ													5					5
60	ウソ					2				5				2			1		10
61	イカル					6								3					9
62	シメ				2	2			1					1					6
63	スズメ	150		40	1,100	542			15		30	81	100+	59		30	8	2,055	
64	ムクドリ			26	6	1			2		3			8		50	20	116	
65	カケス	2								18	1								21
66	オナガ													4					4
67	ミヤマガラス																70		70
68	ハシボソガラス				5	530	215	1	2		1	6	6	2	89		20	1	878
69	ハシブトガラス						241			1			9			2		5	258
合 計		17	226	12	103	2,166	2,514	83	33	239	69	473	314	53	460	22	508	89	7,381

第3表

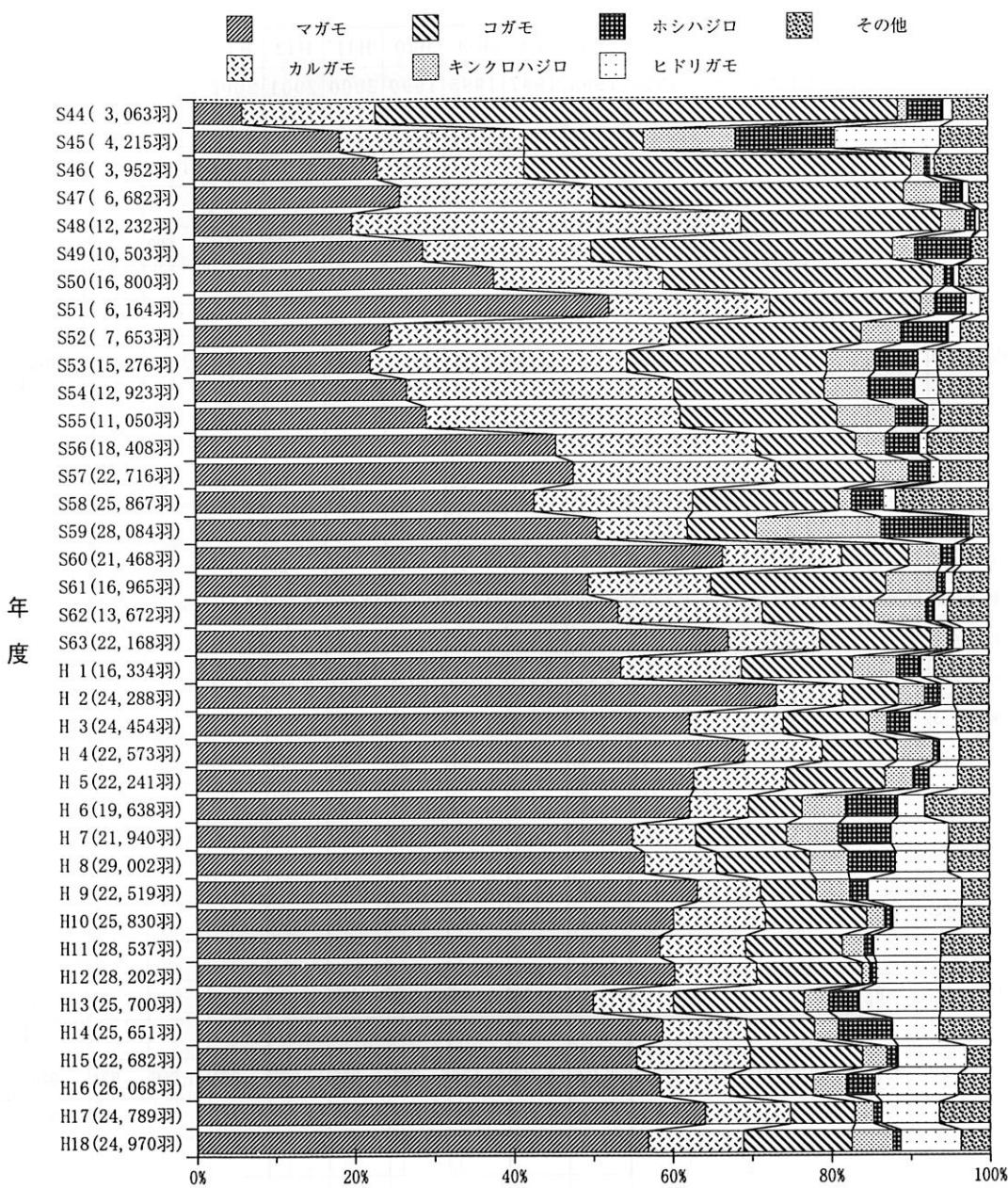
ガンカモ科鳥類生息調査年度別集計表

種名	年度 調査実施年	S44	S45	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61
		1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987
1 コクガン																			
2 マガソ			130						8				203				2	260	
3 カリガネ																			
4 ヒシクイ																133	18		
5 ハクガン																			
不明種						58					30			1					
小計		130				58			8		30		203	1			135	278	
6 オオハクチョウ																		3	
7 コハクチョウ	4					1											1	4	
小計	4					1											1	4	3
8 アカツクシガモ									1										
9 オシドリ	18	168	100	50	51	51	84	33	48	110	65	64	18	15	84	28	45	37	
10 マガモ	187	776	915	1,736	2,436	3,033	6,345	3,220	1,887	3,394	3,643	3,226	8,375	10,842	11,059	14,232	14,254	8,402	
11 カルガモ	516	980	731	1,625	5,994	2,219	3,573	1,245	2,695	4,930	4,338	3,531	4,629	5,775	5,162	3,175	3,231	2,624	
12 コガモ	2,012	631	1,923	2,612	3,082	3,989	5,700	1,178	1,845	3,839	2,447	2,186	2,320	2,842	4,762	2,457	1,815	3,739	
13 トモエガモ	60		2	19	25	3	100	1	4	18	9	14	6	7	51		32	9	
14 ヨシガモ	57	84	19	26	2	5	23		13	38	79	75	40	26	67	58	40	14	
15 オカヨシガモ					3			4		2			12	20	12	31	9	12	
16 ヒドリガモ	37	560	25	49	59	5	110	109	116	374	386	172	177	266	390	153	170	181	
17 アメリカヒドリ																			
18 オナガガモ			1	6	22	24	25	11	15	487	271	8	560	297	1,368	115	244	135	
19 シマアジ																1		2	
20 ハシビロガモ				2	3	92	115	5	2	18	5	9	19	23	11			3	
21 アカハシハジロ			1																
22 ホシハジロ	141	528	27	188	157	751	197	242	458	837	762	455	786	629	1,028	3,144	374	177	
23 キンクロハジロ	35	486	67	312	371	288	263	109	385	925	716	807	699	972	422	4,395	871	1,092	
24 アカハジロ																			
25 スズガモ				12	10			4	98	195	120	387	616	904	1,349	182	262	355	
26 クロガモ									3	6		7	3						
27 ホオジロガモ			1			5	3	1	47	21	32	24	32	30	33	48	23	11	
28 ピロードキンクロ																			
29 シノリガモ																			
30 ミコアイサ			19	3	2	22	35	1	26	66	35	44	43	40	45	40	84	77	
31 ウミアイサ								6		2	4	2	9	2			2		
32 カワアイサ		1	22	9	9	6	2	5	7	11	13	20	63	36	4	42	2	5	
不明種			100	30	9	10	214			3							5	92	
小計	3,063	4,215	3,952	6,682	12,232	10,503	16,800	6,164	7,653	15,276	12,923	11,050	18,408	22,716	25,867	28,084	21,468	16,965	
合計	3,067	4,345	3,952	6,682	12,291	10,503	16,800	6,172	7,653	15,306	12,923	11,253	18,409	22,716	25,867	28,085	21,607	17,246	
備考	調査箇所	6	12	12	16	14	11	14	9	9	13	12	12	11	11	11	11	11	
	調査面積ha	1,198	2,481	2,284	3,400	2,725	2,725	2,677	1,395	2,184	2,273	2,268	2,268	2,218	2,218	2,418	2,418	2,418	
	調査人員	22	35	42	74	78	59	83	46	33	32	35	21	32	36	53	47	52	

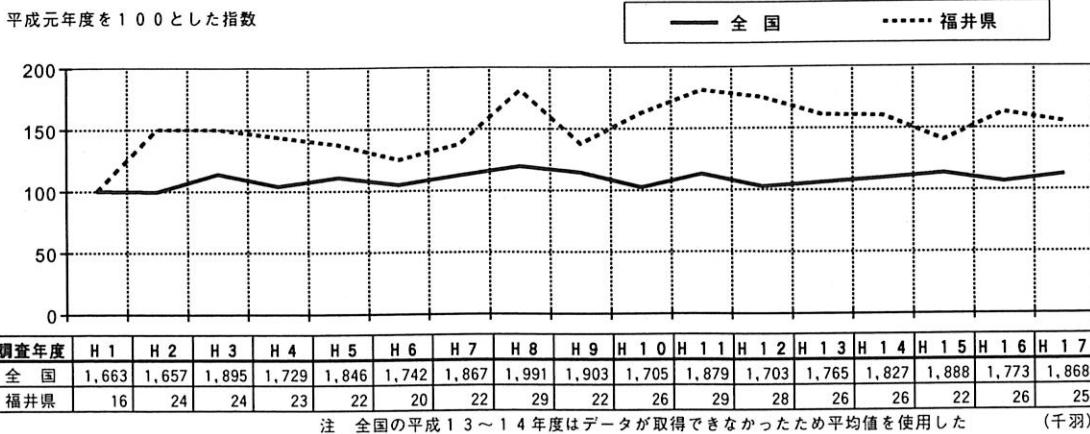
S 62	S 63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
										1									
2			87	720	130	1,650	1,295	582	1,003	1,200	1,081	2,030	2,200	1,400	1,904	2,150	2,059	1,059	2,094
															1				
	86	140	103	62	199	8	319	6	181	293	547	108	78	414	598	42	28	398	19
										1	1	1							
			150								3	4							86
2	86	140	190	932	329	1,658	1,614	588	1,185	1,498	1,633	2,138	2,278	1,815	2,502	2,192	2,087	1,457	2,199
		14	34	12	48	1	2	9	17	23		13	22	26	45	21	9	104	46
		14	34	12	48	1	2	9	17	23		13	22	26	45	21	9	104	46
17	10	2	2	14	11	6	15	8	58	17	10	15	26	8	30	26	25	32	
7,282	14,884	8,758	17,780	15,215	15,620	13,957	12,217	12,067	16,385	14,226	15,536	16,662	16,998	12,848	15,060	12,573	15,218	15,833	14,207
2,485	2,571	2,477	2,020	2,888	2,201	2,584	1,452	1,748	2,623	1,785	2,986	3,093	2,902	2,584	2,721	3,246	2,262	2,668	2,988
1,936	3,083	2,289	1,718	2,633	2,122	2,773	1,335	2,509	3,435	1,589	3,298	3,464	3,743	4,252	2,188	3,205	2,762	2,004	3,411
5	179	3	13	4	4	14	45	15	9	27	13	94	185	31	78	5	76	17	65
15	60	18	2	12	18	16	10	33	23	24	27	67	74	96	132	164	188	179	147
14	27	55	27	83	141	157	112	77	132	69	49	120	75	253	132	110	213	21	48
223	294	275	382	1,443	543	795	664	1,587	1,919	2,659	2,230	2,418	2,276	2,635	1,510	1,973	2,738	1,799	1,890
		1										1		4	3			2	
71	272	278	49	247	254	371	216	239	559	330	313	716	508	336	209	66	140	234	170
3	1	12	6	26	1	7	7	12	28	82	29	87	29	15	42	22	63	14	6
1																			
154	150	509	501	712	191	471	1,303	1,466	1,740	534	287	396	235	983	1,756	321	940	259	262
885	479	899	791	566	1,037	775	1,061	1,432	1,370	933	570	786	275	787	768	699	1,090	577	1,282
																	1		
221	73	347	631	479	310	246	603	652	649	139	368	518	798	724	933	191	231	992	337
				1													2		
10	14	32	9	39	19	18	11	22	2	24	26	15	12	30	25	10		21	32
										1				3		2			
													1		1			21	
81	53	67	37	72	67	38	24	29	56	65	54	34	45	57	51	56	57	48	76
			2								1					- 1			
12	12	10	6	13	34	13	3	11	13	16	33	49	18	56	10	14	38	39	49
257	6	300	314	7			560	33				1			1		3		
13,672	22,168	16,334	24,288	24,454	22,573	22,241	19,638	21,940	29,002	22,519	25,830	28,537	28,202	25,700	25,651	22,682	26,068	24,789	24,970
13,674	22,254	16,488	24,512	25,398	22,950	23,900	21,254	22,537	30,204	24,040	27,463	30,688	30,502	27,541	28,198	24,895	28,164	26,350	27,215
11	13	13	13	13	13	13	13	13	16	16	16	16	16	16	16	16	16	17	17
2,418	2,446	2,446	2,446	2,446	2,446	2,446	2,446	2,446	9,886	9,906	9,906	9,906	9,906	9,906	9,906	9,906	9,942	9,944	
58	45	45	59	62	59	54	55	52	96	84	67	71	73	82	79	81	77	93	91

第3図

カモ類の優占率の経年変化



第4図



あとがき

今回の調査は、各調査地とも経験豊富で識別力の優れたメンバーで構成し、数多くの成果を収めた。調査記録は保存し、今後の鳥類生息状況調査の資料として重要な役割を果たすものと確信する。

調査協力者

浅井	喜久恵	荒木	順子	井尻	雅己	宇野	秀夫
宇野	竜司	納村	力	納村	紀子	大橋	正明
大西	五十二	香川	正行	川崎	大輔	北山	一宏
北山	巧	組頭	五十夫	久保上	宗次郎	河野	きゑ子
河野	文明	越野	恵子	小嶋	明男	斎藤	衣代
酒井	敬治	笹木	智恵子	鈴川	文夫	須本	一郎
瀬戸	靖夫	高橋	繁応	高橋	陽子	高田	雄治
田代	みつ子	多田	憲市	田中	美喜代	谷口	艶子
谷口	真栄	谷口	利恵子	辻	義次	土田	孝幸
中林	喜悦	西垣	正男	長谷川	祐一	畠中	武二
畠中	八千子	堀田	高久	堀田	雅貴	堀田	統大
堀	孝敏	前川	克也	松村	俊幸	三原	学
門前	孝也	八色	親弘	柳町	邦光	山崎	紗夜子
山崎	範子	山下	美佐子	山本	乗彦	横山	大八
吉田	一朗	楽間	準二				

(順不同敬称略)

編集：(財)日本野鳥の会福井県支部
〒919-0212 福井県南条郡南越前町鯖波18-3
TEL 0778-47-3006 (門前方)
発行：福井県自然保護センター
〒912-0131 福井県大野市南六呂師169-11-2
TEL 0779-67-1655